

『シンガポール2007予算セミナー』

PricewaterhouseCoopers シンガポール事務所

日系企業サービス部門

吉田実貴人

*connectedthinking



講師バックグラウンド



吉田 実貴人 (Mikito Yoshida)

公認会計士・不動産鑑定士

- >日本長期信用銀行系総合不動産会社
不動産法人仲介業務/不動産鑑定業務
- >中央青山監査法人(現 みすず監査法人)
会計監査
株式公開
REIT設立コンサル
知的財産関連

- ・日本公認会計士協会 経営研究調査会 計算鑑定人専門部会 専門委員
- ・日本公認会計士協会 経営研究調査会 知的財産専門部会 専門委員
- ・日本公認会計士協会 公会計委員会 PFI専門部会 専門委員

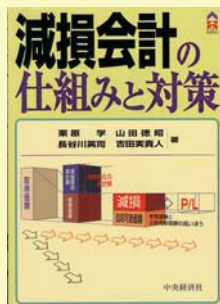
>PricewaterhouseCoopers Singapore

- ・Japanese Advisory Service
- ・Assurance

著書紹介(共著)



- ・不動産投信の実務
- ・中央経済社



- ・減損会計の仕組みと対策
- ・中央経済社



- ・知的財産ビジネスハンドブック
- ・日経BP社



- ・経営者のためのJASDAQ上場
- ・中央経済社



1. はじめに — シンガポール予算案発表
2. シンガポール予算案ハイライト
3. シンガポール概要
4. シンガポール予算案 日系企業へのインパクト
 - ✓ 法人税
 - ✓ GST
 - ✓ 個人所得税
 - ✓ その他
5. PwC ご案内

はじめに

2006年シンガポール予算 総括

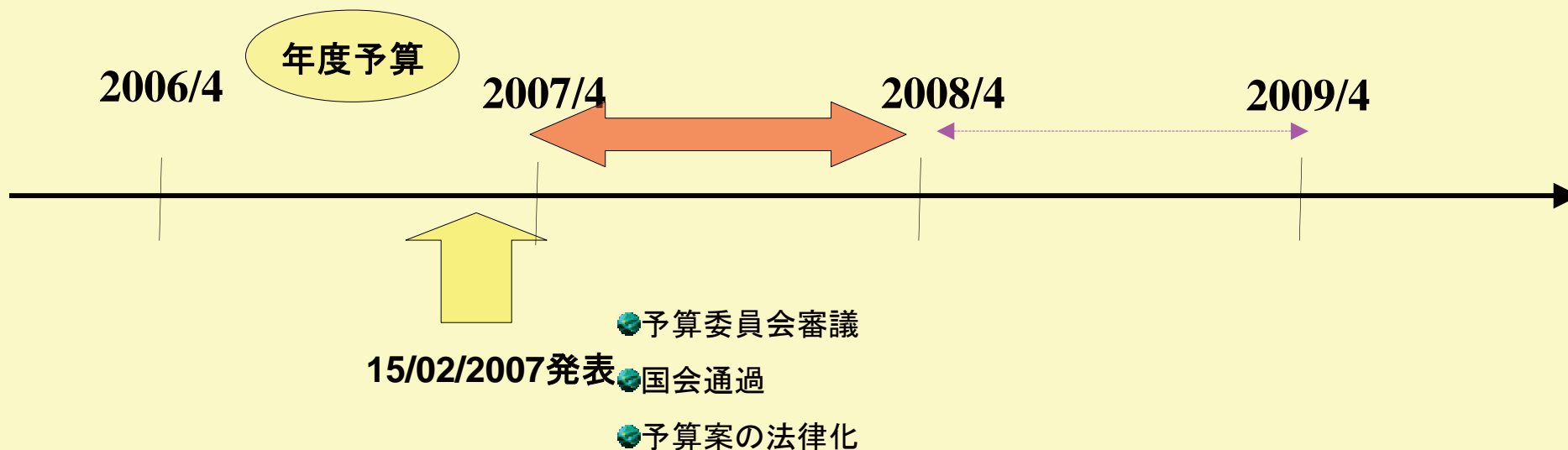
- 各種税源の税率見直し

法人税、GSTの税率変更

- 発表

2007年2月15日にPM & FM Lee Hsien Loong (李顯龍氏) が発表

Budget : 政府予算。シンガポールでは通常、毎年2月末から3月上旬にかけて公表。
予算とともに税制の変更案も同時に発表。
その後、国会法案提出、法制化となる
Financial Year: 政府の年度は4/1～3/31。
FY2007は1/4/2007～31/3/2008を指す。



はじめに

与党PAPについて

李顯龍氏：2004年8月からPM兼FM

56歳。予算案の発表者

FM：Finance Minister 財務大臣



- People's Action Party (PAP)

- Minister Mentor Lee Kuan Yew (PM 1959 - 1990)
- Senior Minister Goh Chok Tong (PM 1990 - 2004)
- PM Lee Hsien Loong (since 2004)

- 1966年からずっとPAPが議会の過半数を確保
- 現在は84議席中、82議席を確保



シンガポール予算案ハイライト

- 法人税率の変更(20%→18%)
- 個人所得税率に変更なし
- GST税率の変更(5%→7%)
- 法人税の軽減税率枠の拡大
- 起業家や小規模企業等への支援
- 各種インセンティブの見直し
- 低所得者への配慮(シンガポール国民のみ、Not.PR)

シンガポール予算案－補足説明

- 法人税引き下げ
 - ビジネス拠点として国際競争力の強化
- 個人所得税の据え置き
 - 十分に魅力的な水準
- GST引き上げ
 - 低所得者支援やインフラ整備、教育などの財源確保
- CPFへの拠出負担率変更
 - 中所得者以上の貯蓄支援。低所得者支援は別途。
- ワークフェアの継続導入
 - 昨年導入した低所得者支援のための一時金「ワークフェア」を継続支給。
- 遺産税の撤廃
 - 海外からの人材誘致のため遺産税の完全撤廃を検討中



Content

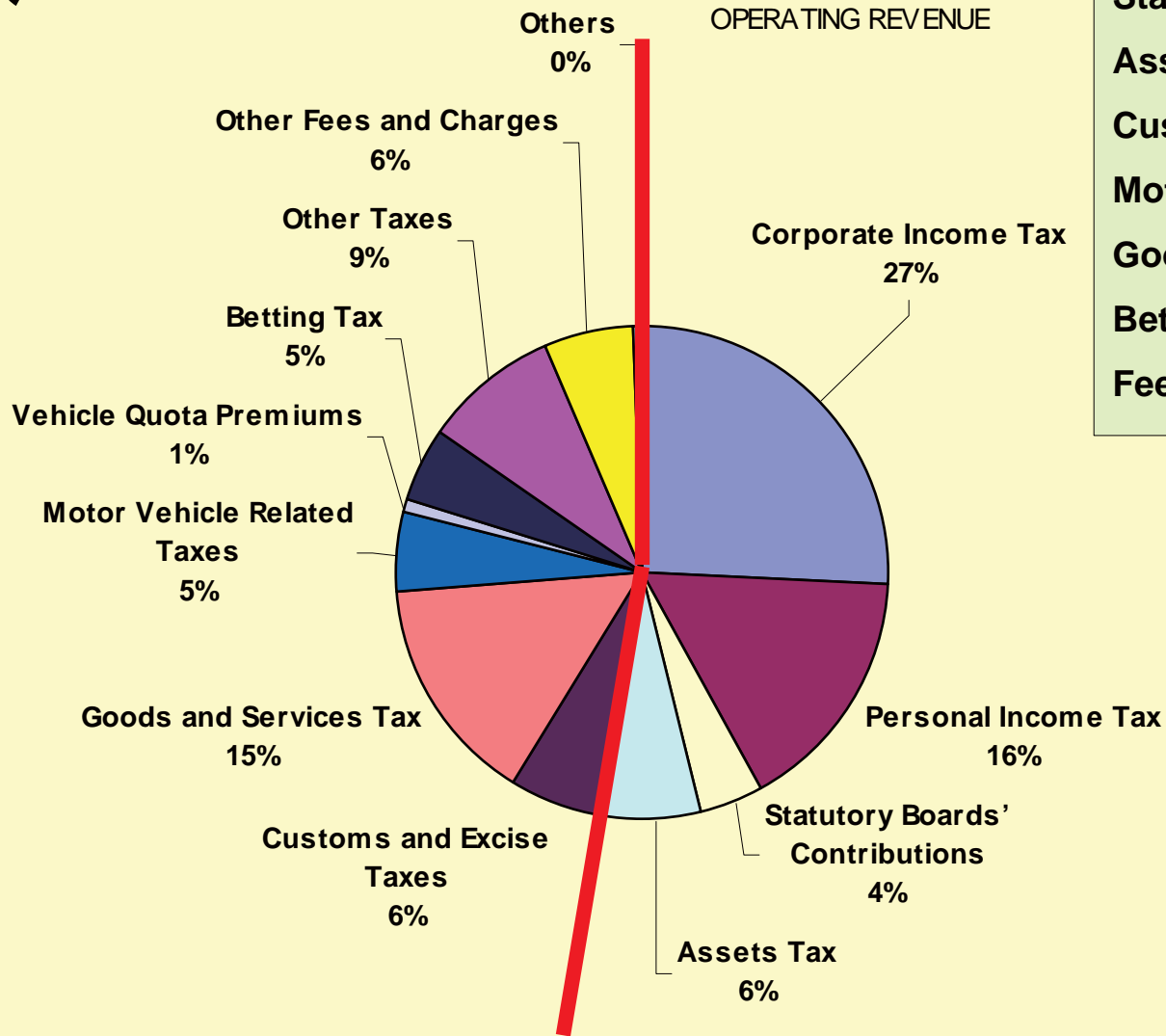
- Introduction



- 法人税
- 個人所得税
- GST
- その他



シンガポール税収の内訳



Corporate Income Tax : 法人税

Personal Income Tax : 所得税

Statutory Boards Contribution :

Asset Taxes : 固定資産税

Custom and Excise Tax : 関税

Motor Vehicle Taxes : 自動車関連税

Good & Service Tax : 消費税

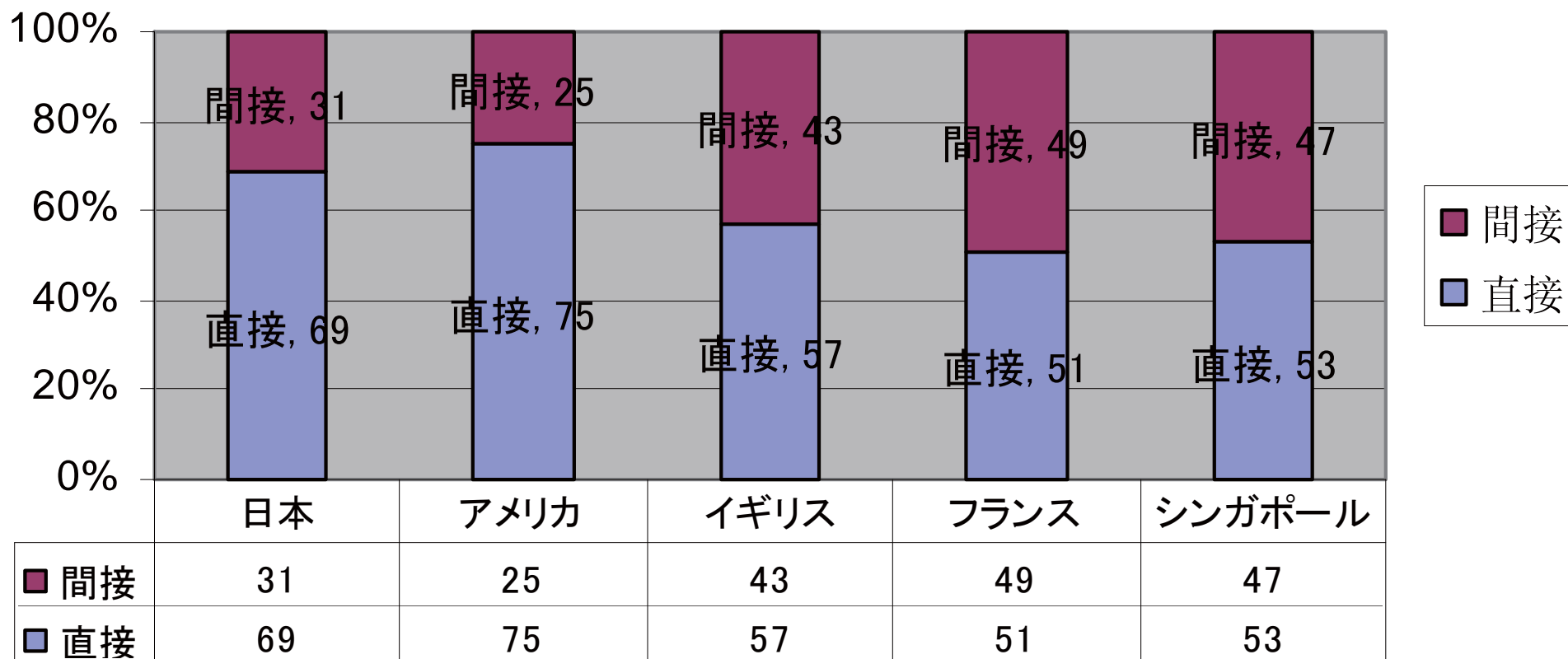
Betting Taxes : 賭博関連税

Fees & Charges : 手数料

直接税・間接税の比率

(直間比率) が約50%強

直間比率の国際比較



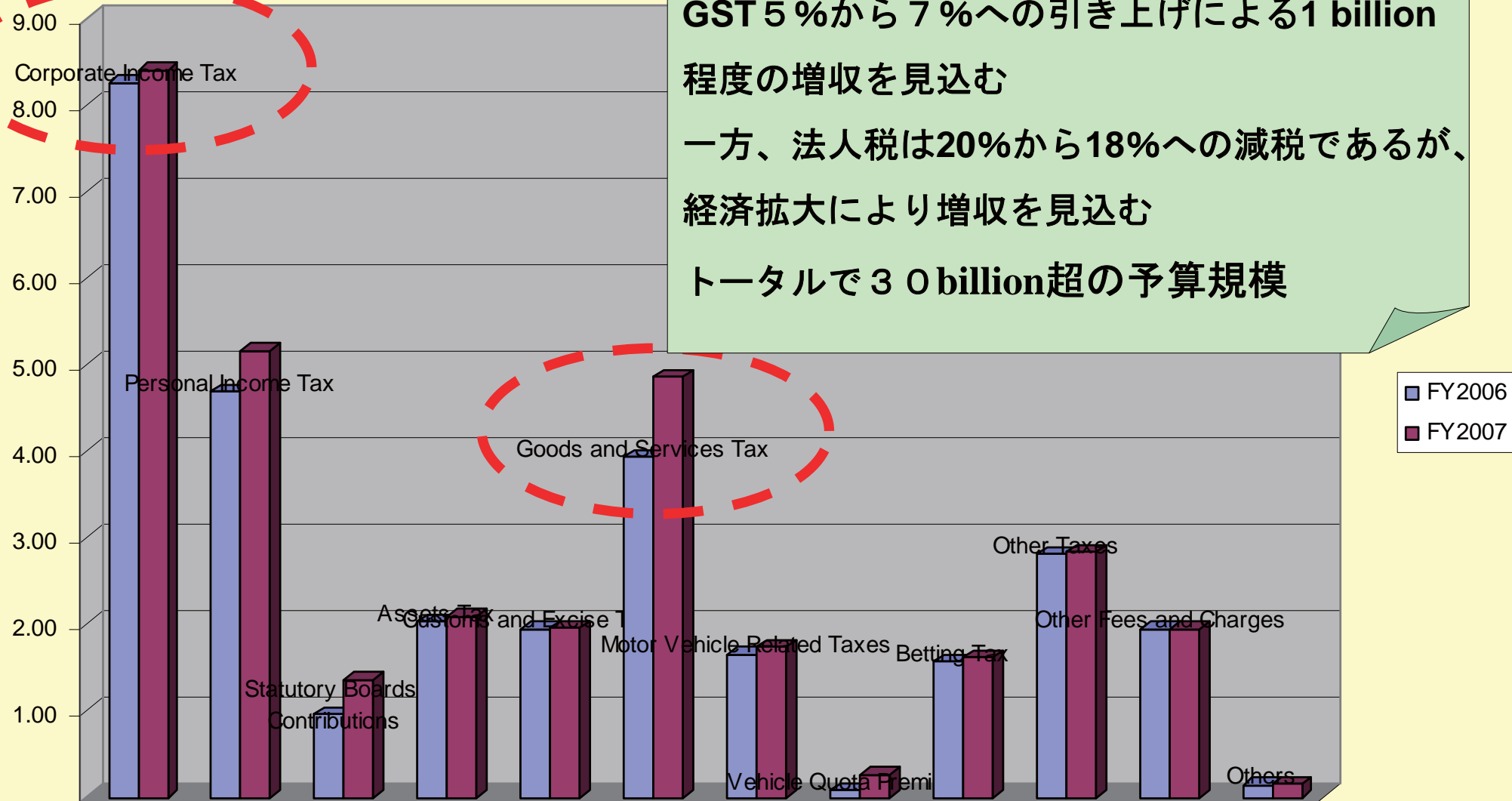
日本の国税は平成18年度(2006年度)予算額、地方税は見込額。諸外国は、OECD “Revenue Statistics 1965-2004”及び同 “National Accounts 1991-2003”による2003年の計数から作成

シンガポール概要

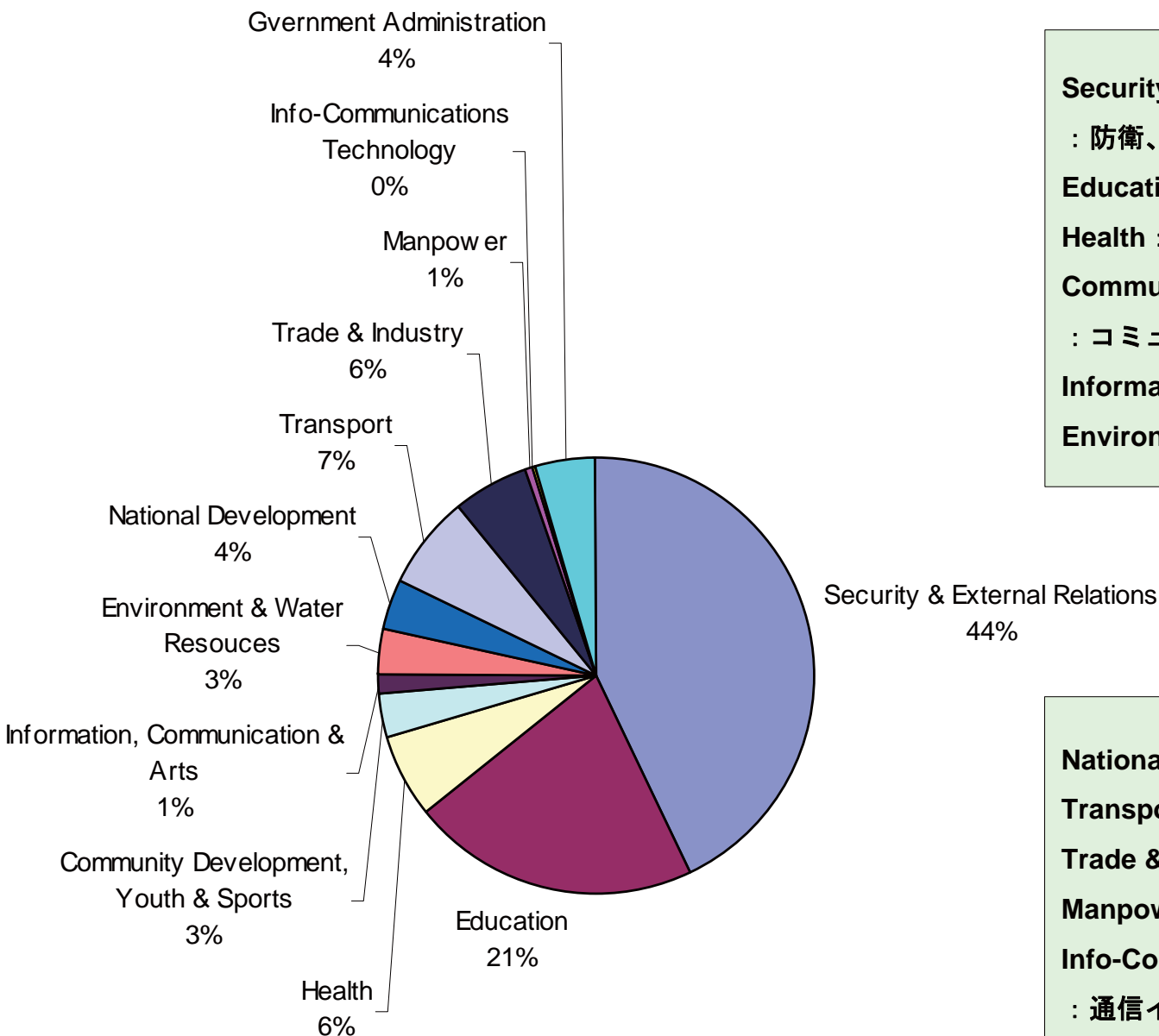
FY2006とFY2007の比較

Source: Singapore Budget 2007より作成

Unit: \$billion



政府支出



Security & External Relations
: 防衛、治安、外交

Education : 教育

Health : 健康、医療費

Community Development, Youth & Sports
: コミュニティ形成、スポーツ振興

Information, Communication & Arts : 芸術

Environment & Water Resources ; 環境、水資源保全

National Development : 国土開発

Transport : 交通インフラ整備

Trade & Industry : 貿易、通産

Manpower : 人材開発

Info-Communications Technology
: 通信インフラ整備

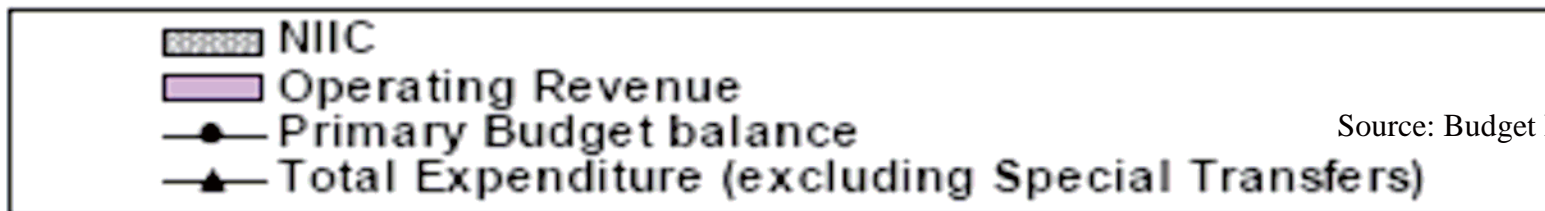
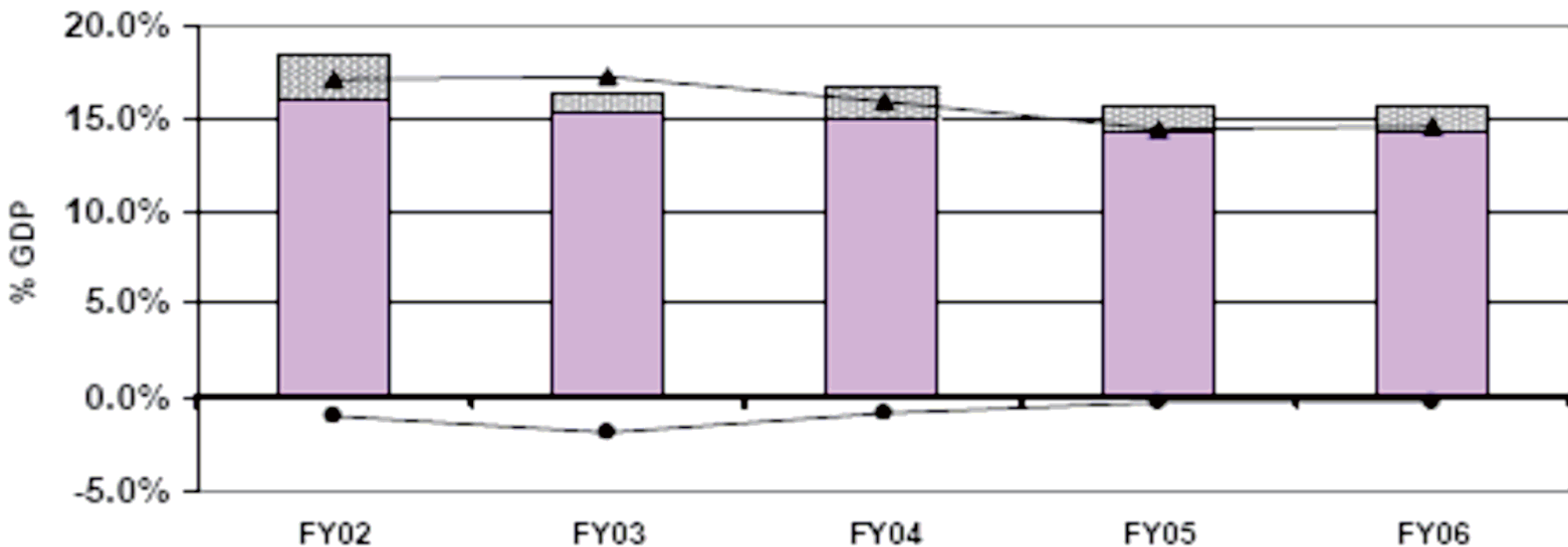
Government Administration : 一般管理費

Source: <http://www.singstat.gov.sg>から作成。Government Operating Expenditure + Government Development Expenditureとして取り扱った。

財政均衡(プライマリーバランス)

- ほぼ財政均衡
- 投資収入が税収を補完

Primary Budget Balance : 財政均衡
Operating Revenue : 財政収入
NIIC : Net Investment Income Contribution :
投資からの収入

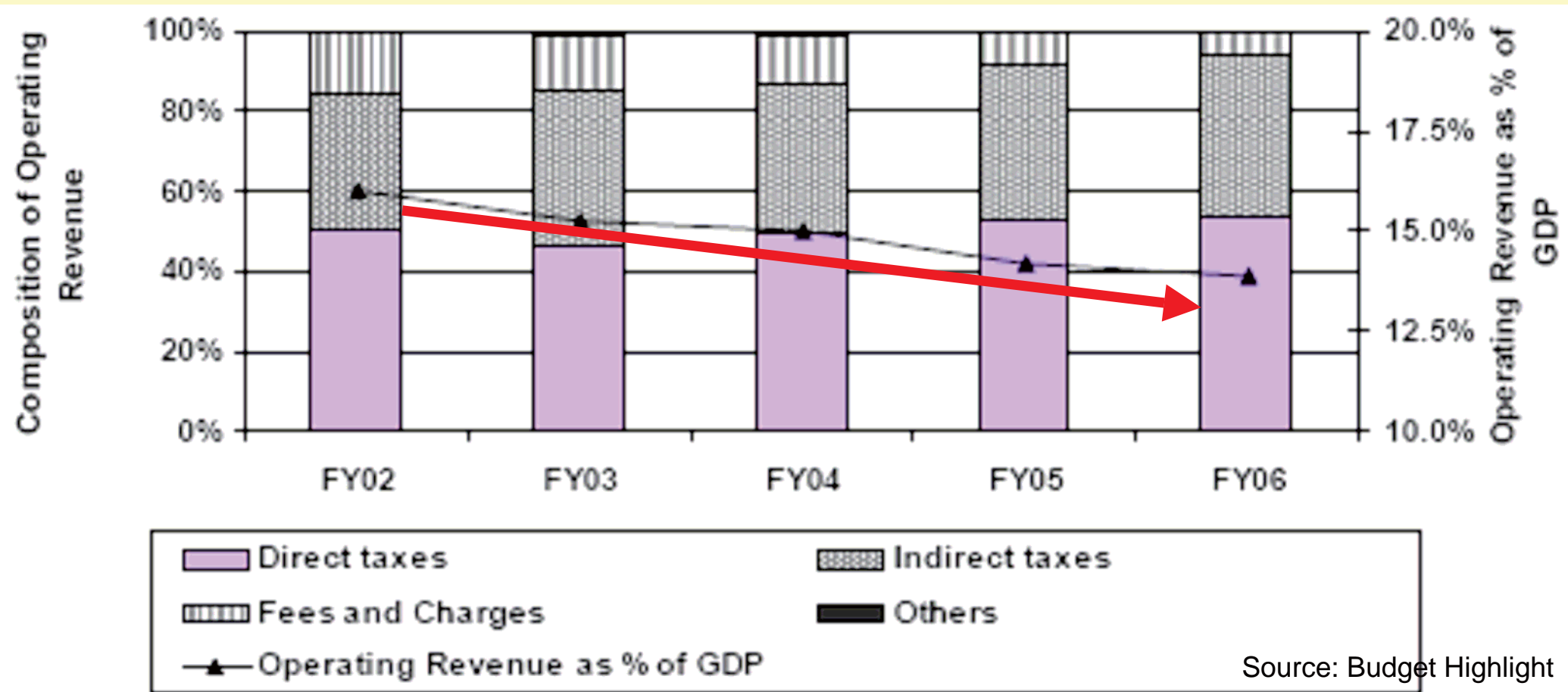


Source: Budget Highlight

スリムな政府1

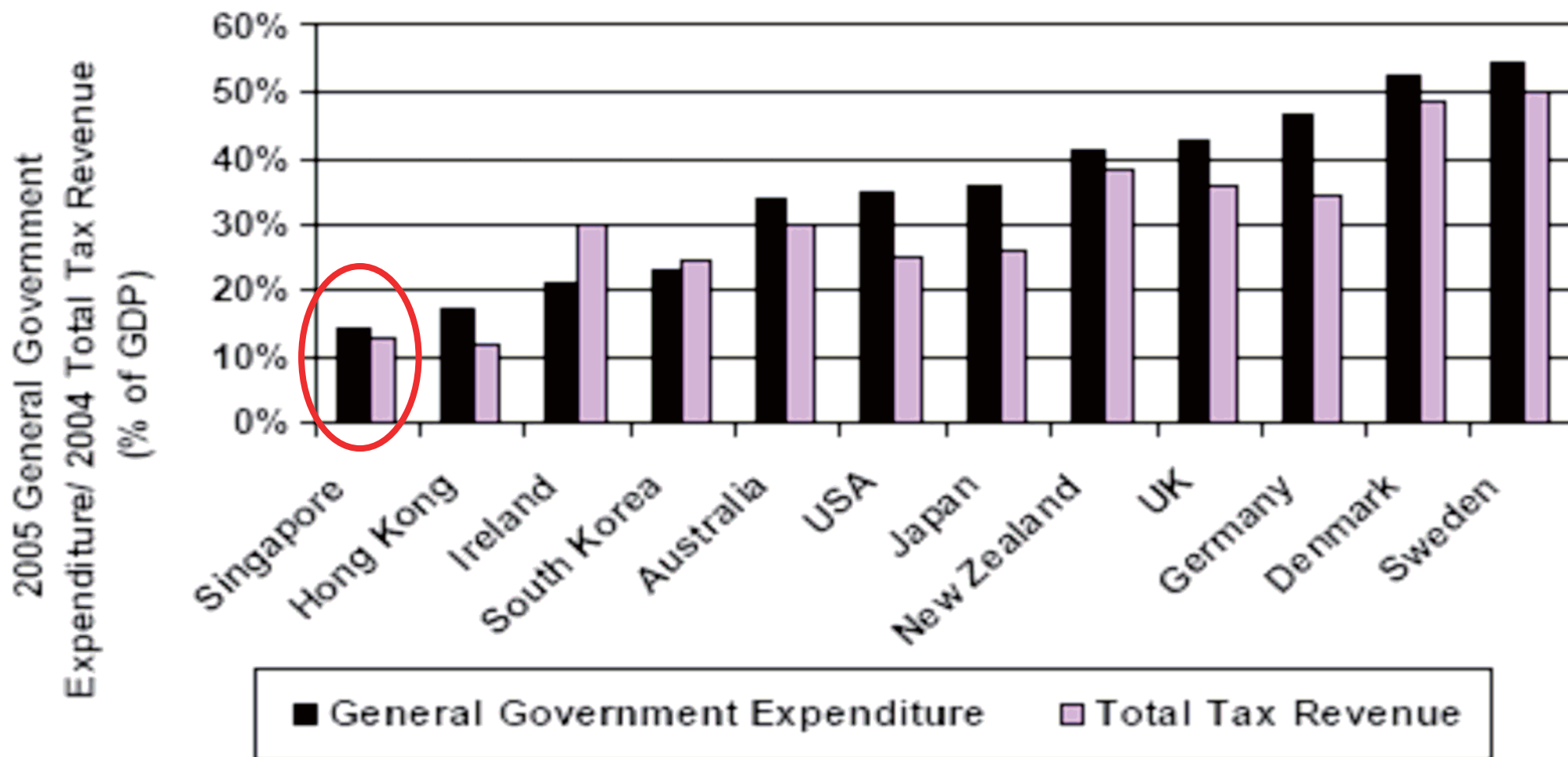
Direct Taxes : 直接税
Indirect taxes : 間接税
Fees and Charges : 手数料収入

🌐 対GDP比での予算規模が漸減 (政府のスリム化)



スリムな政府2

🌐 政府予算規模（対GDP比）は、各国と比較しても小さい

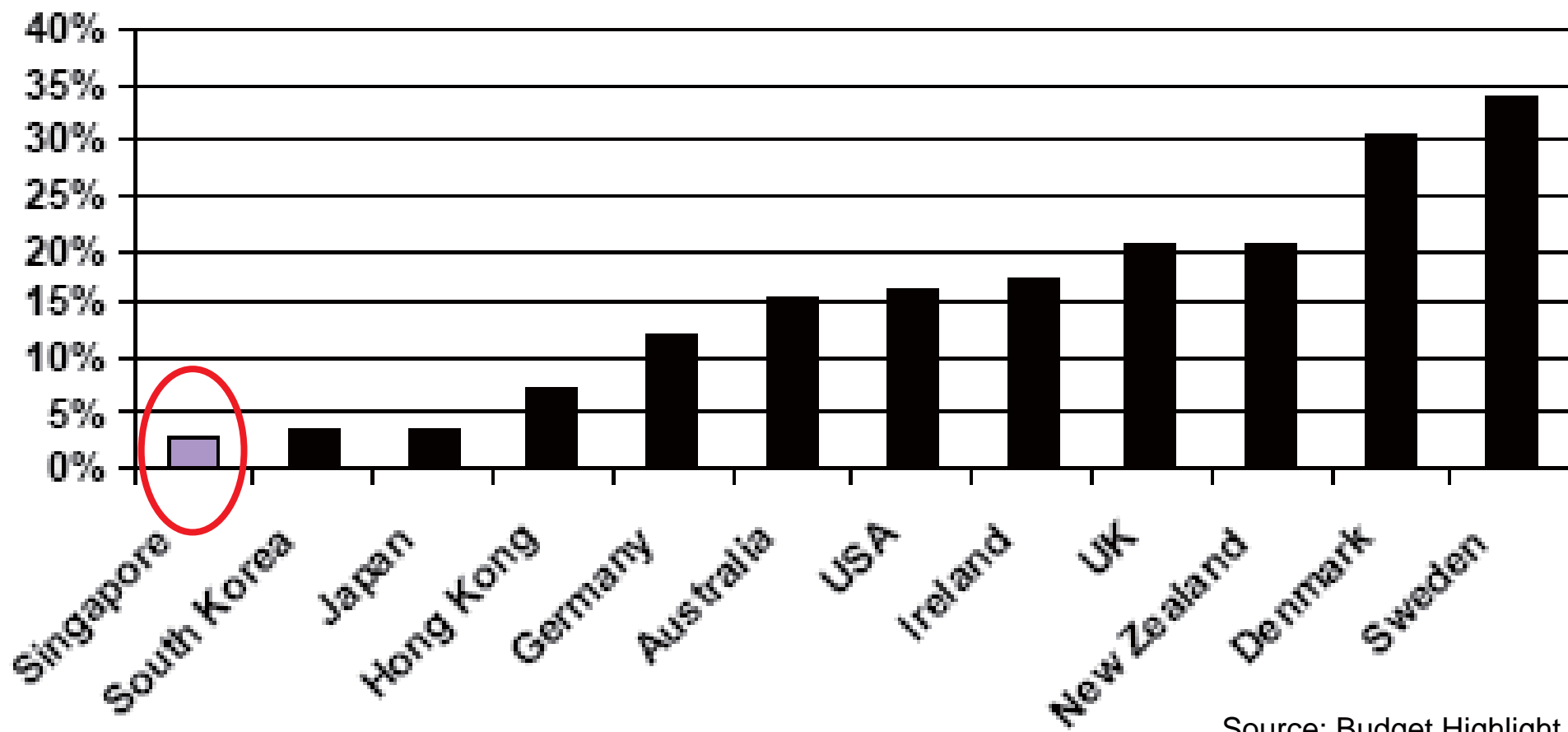


なぜ政府予算規模が小さいか？

Public Sector : 公共部門

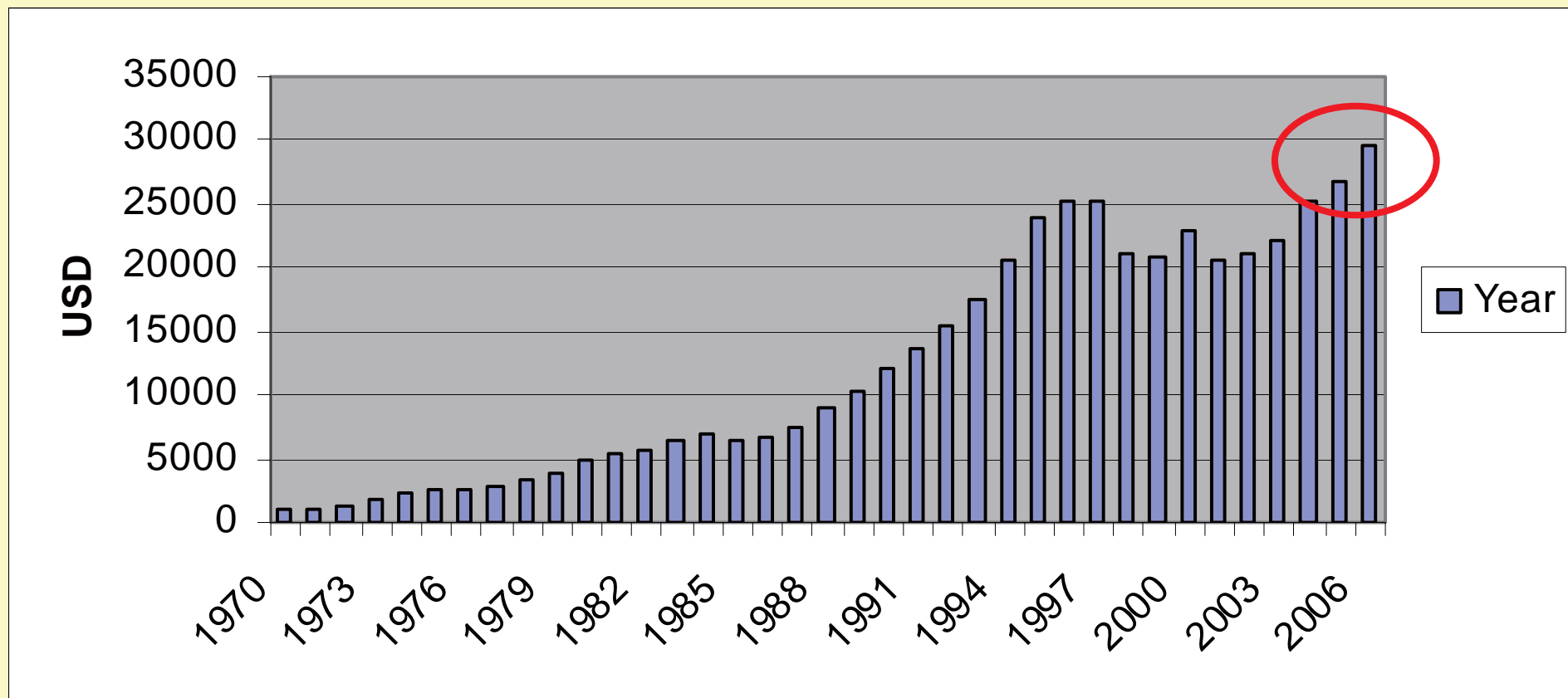
- 政府関係職員数が、少ない -National Service-
- 州・地方公務員が不要で効率的な運営が可能

Employment in the Public Sector in 2004 (% of total employment)



GDP/capita

GDP/capita : 国民一人当たりGDP



● GDP/Capitaはもうs先進国(US3万ドル)の仲間入り間近

● しかし、(当然だが)総額は、遠く及ばない

現状：SWOT 分析



強み

海上交通の戦略的位置・要衝
高いスキルのある労働者
効率的なインフラ整備
安定した政治体制
腐敗のない公正な政府
外国からの投資優遇
経済の変化に対する対応の早さ

弱み

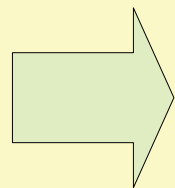
国内消費市場ボリュームの限界
MNCへの経済依存
輸出入への過度な依存
地理的限界
労働コストの上昇
外国の経済市況に左右されやすい

機会

英語・中国語圏の橋渡し
知的財産の蓄積
グローバル化に伴う物流の拡大

脅威

将来的な高齢化
少子化の進行
テロ・鳥インフルエンザ
近隣諸国とのトラブル
東南アジア拠点候補との競争

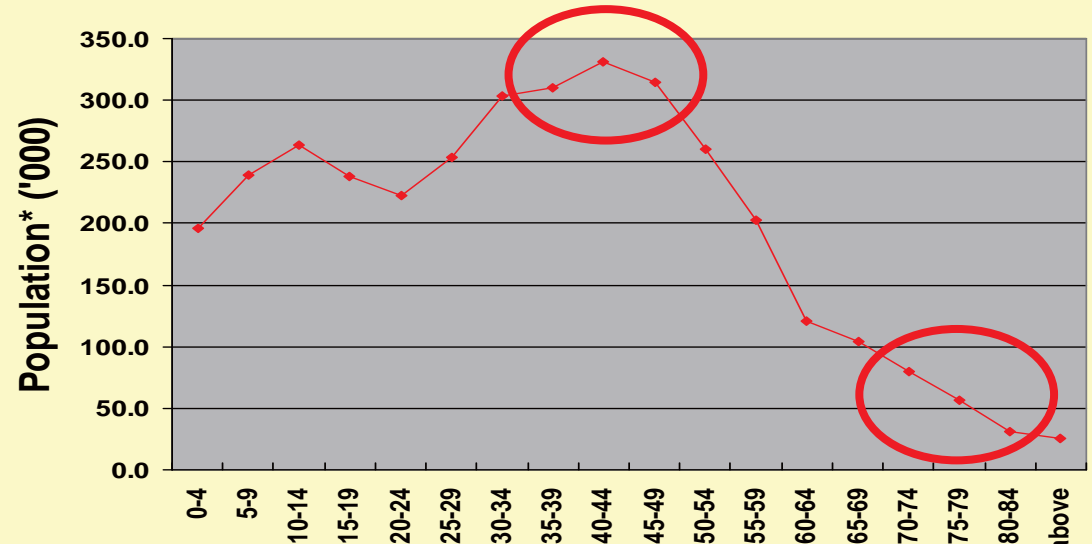


- 比較優位として競争力維持・強化
- 投資先としてオープンかつ魅力のある国へ
- 10-20年後に先進国トップグループの仲間入り(希望)

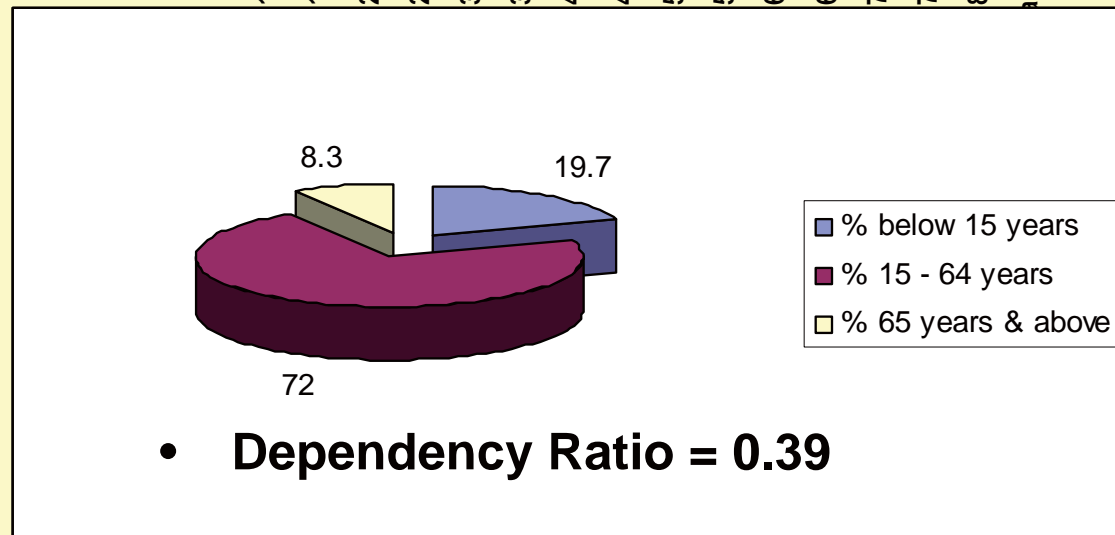
人口統計1 世代

Dependency Ratio : 依存人口比率。
0~14歳人口と65歳以上人口の和を、
15~64歳人口で除したものの。

- Population(2005):
 - 3.55 million (citizens & PRs)
 - 4.43 million (inclusive of foreign workers)
- Annual growth rate:
 - 1.3% (total)
 - 1.4% (residents)

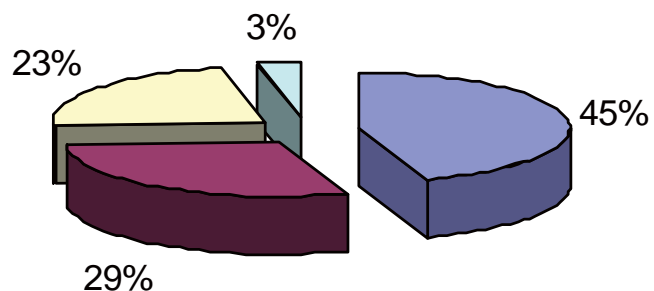


- 生産年齢人口の比率は高い
- しかし、現在40-44歳の世代が引退時に備える必要がある



人口統計2 就労産業

Workforce by Occupation (%)



労働力(Dec 2004)

- 2.3 million
- 単一の労働組合 (NTUC)
- 政府は、労使協調を支援
- 過去15年間でストライキは1回のみ



- オフィスワーカー・サービス業従事者が多い
- 工場労働者は1/4に満たない

Economy & Trade

Key となる産業

- 石油精製業
- 製造・建設業
- 銀行・金融業
- 運輸・通信業
- 観光業

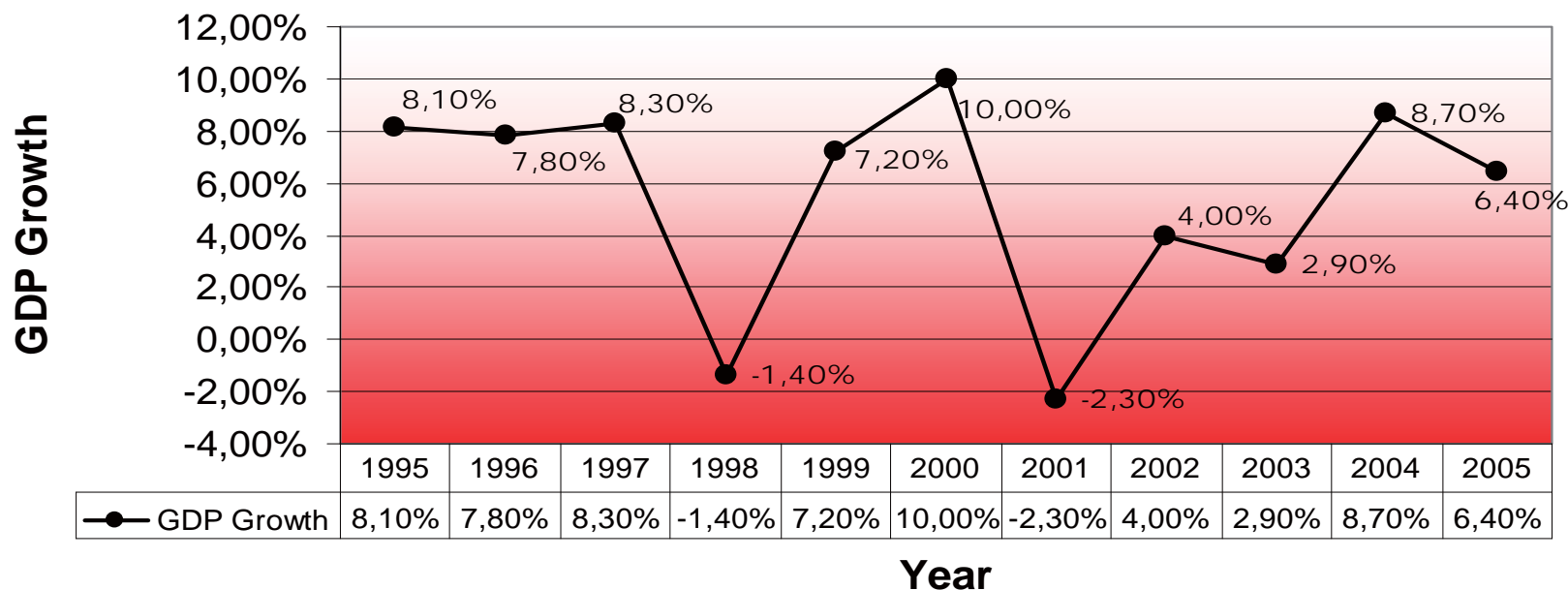
サービス産業への従事者が多い

Workforce by Industry (%)	2005
Manufacturing	16.7
Construction	5.0
Wholesale & Retail Trade	18.4
Hotels & Restaurants	6.3
Transport & Storage	9.9
Information & Communications	3.9
Financial Services	6.2
Business Services	12.6
Community, Social and Personal Services	20.0
Others	1.1

GDPの推移 1995-2005

- SARSや9/11の直後はマイナス成長だったが、2004年には8.7%の成長率を達成
- 2005年には、金融・観光・医薬業界がリードして6.4%の成長率を達成
- 2006年には7%を超える成長率を見込む。
- GDPのうち、製造業の貢献は26.1%、その他はサービス業

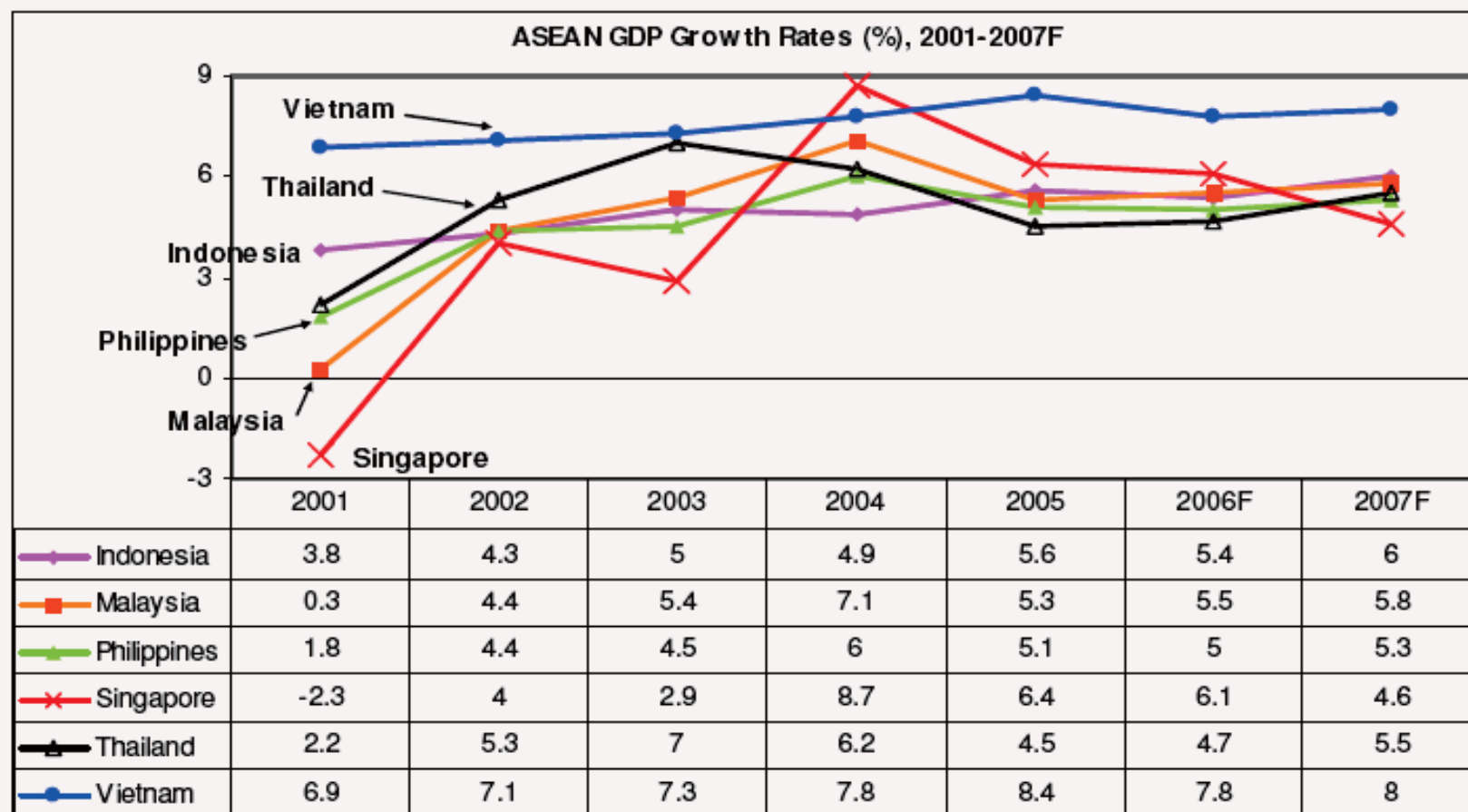
Evolution GDP Growth in Singapore at 2000 Market Price



アジアタイガーのGDP比較

GDP : gross domestic product
国内総生産

- 他のアジア諸国より経済変動がやや大きいが、同様のGDP推移



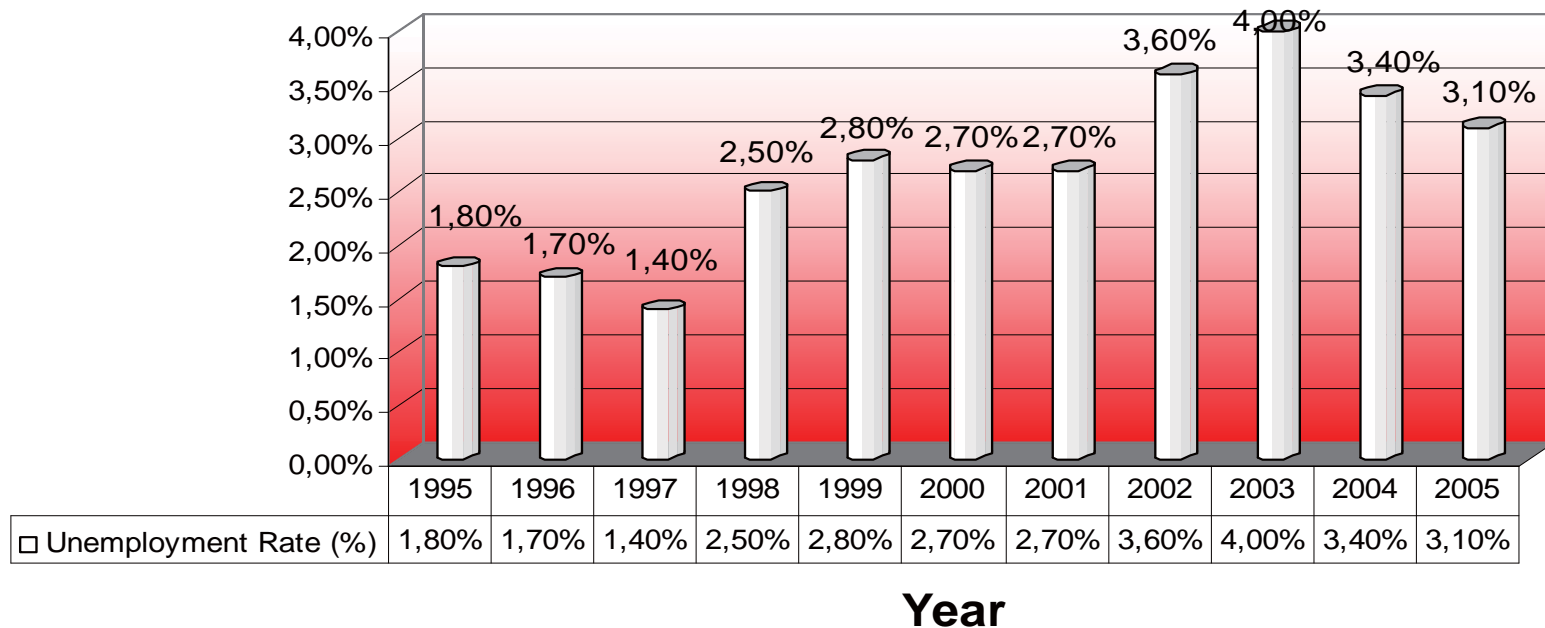
Source: Asian Development Bank

失業率

Unemployment : 失業率

- 失業率は、1997年 (1.4%) から1998 (2.5%)にかけて、アジア通貨危機を原因として劇的に悪化
- 2003年にはSARSの影響により、10年ぶりに失業率が 4.0%を突破したが、その後、減少
- しかし55歳以上の労働者や低スキルの労働者の失業率は悪化

Unemployment Rate (%) - Annual Average



法人税



法人税率

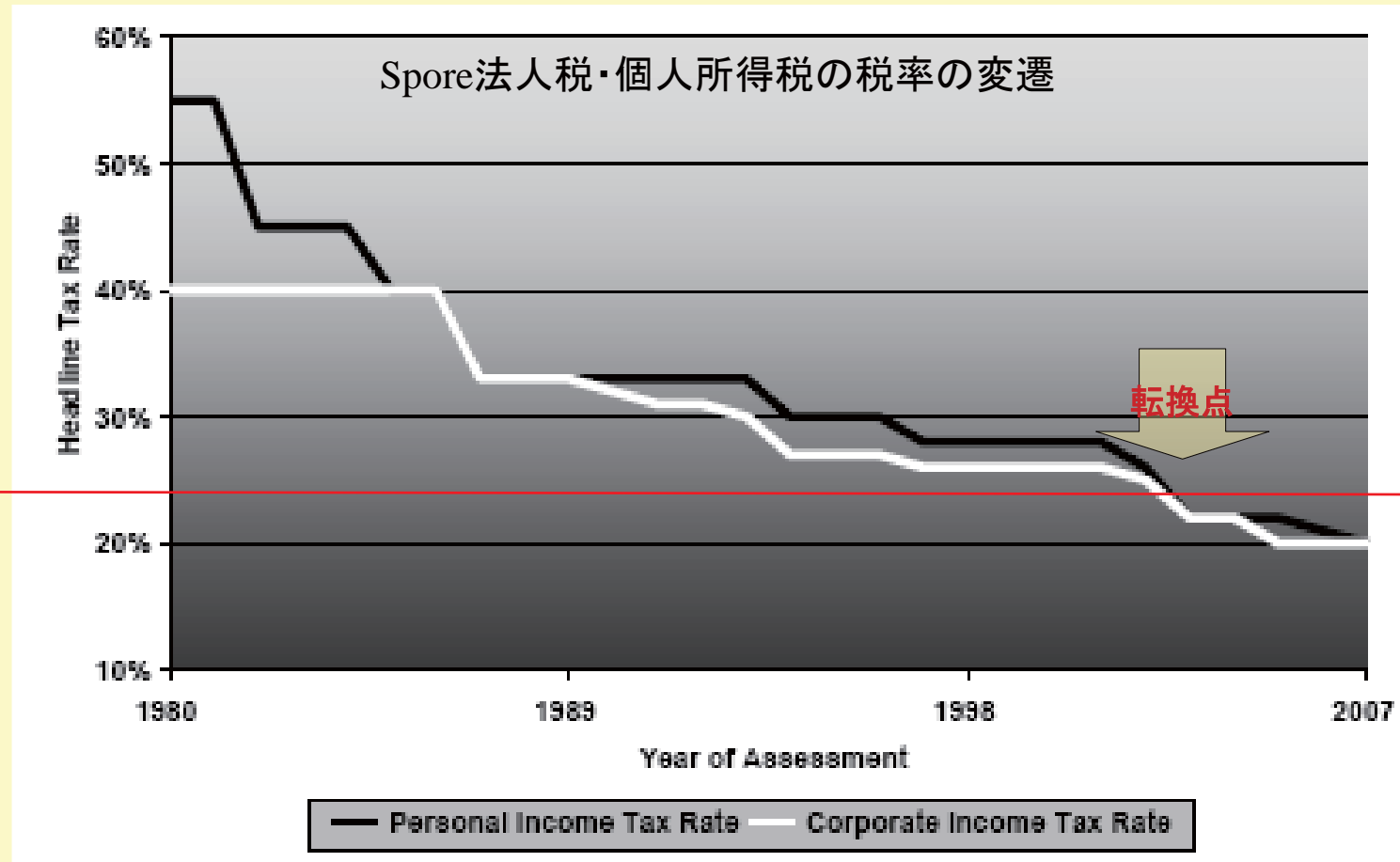
- 税率の段階的引き下げ (20%→18%)
- 地域統括拠点としての香港との競争

個人所得税 : Personal Income Tax
法人税 : Corporate Income Tax
税率 : Tax Rate
賦課年度 : Year of Assessment

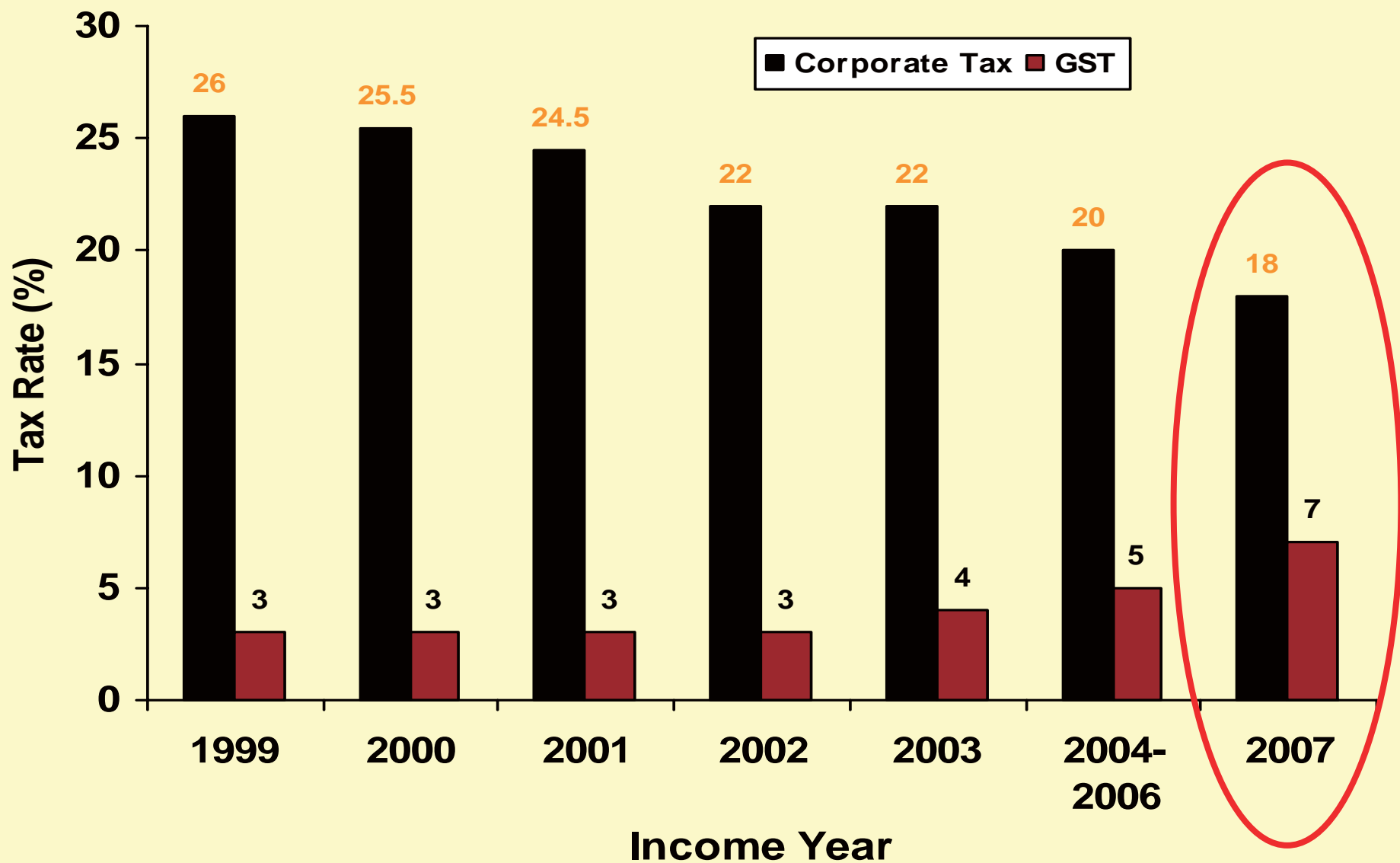
タックスヘイブン税制の基準税率(租税特別措置法)

25%

Spore現地法人の所得金額を親会社の日本法人の所得に合算必要



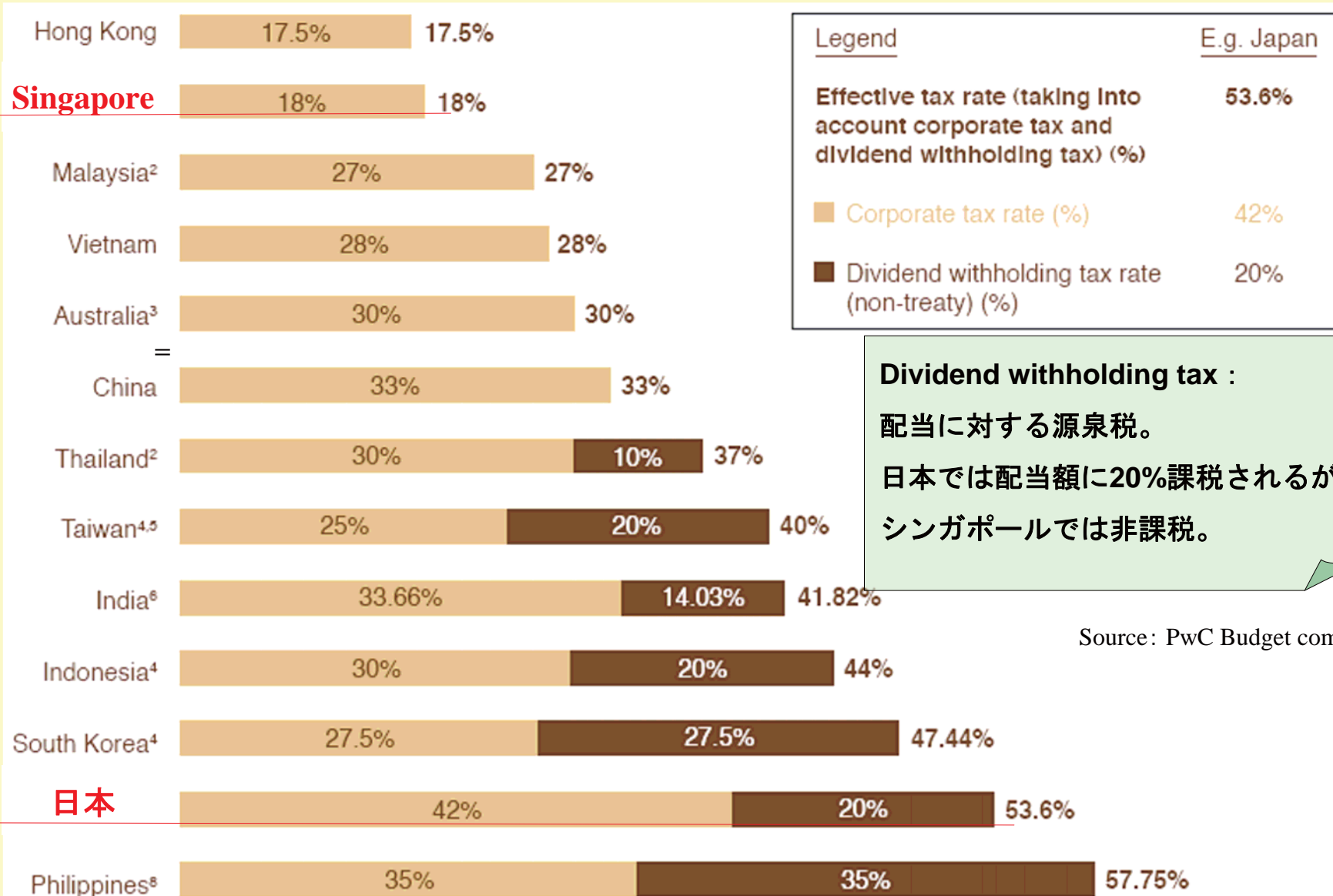
法人税率とGST税率の変換



税率(配当源泉税考慮)の比較

法人税 税引後利益(配当)に対して20%の源泉税

$$42\% + (1 - 0.42) * 20\% = 53.6\%$$



Source: PwC Budget commentary

軽減税率の変更

●実質的な減税—特にSMEに影響大

Effective Tax Rate : 実効税率

Chargeable Income: 課税所得

Partial Exemption Threshold : 軽減税率

•YA07まで

Amount of Chargeable Income	Effective Tax Rate
First \$10,000	5%
Next \$90,000	10%
In excess of \$100,000	20%

計算例:

①課税所得\$30万ドル

FY07: \$49,500

FY08: :\$26,550

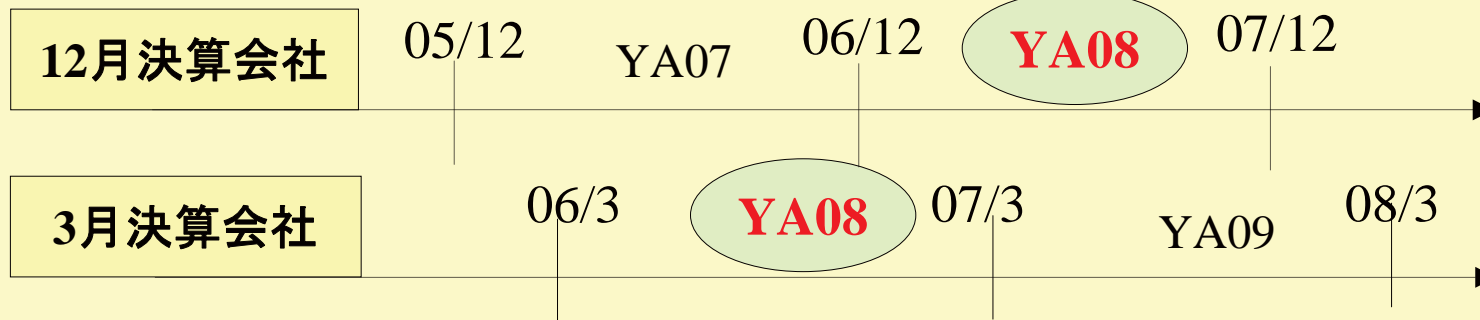
②課税所得\$100万ドル

FY07:\$189,500

FY08:\$152,550

•YA08から

Amount of Chargeable Income	Effective Tax Rate
First \$10,000	4.5%
Next \$290,000	9.0%
In excess of \$300,000	18.0%



起業家への支援－\$100,000所得控除

● 起業家への免税

➤ 対象: Start-Up & Exempt Private Company

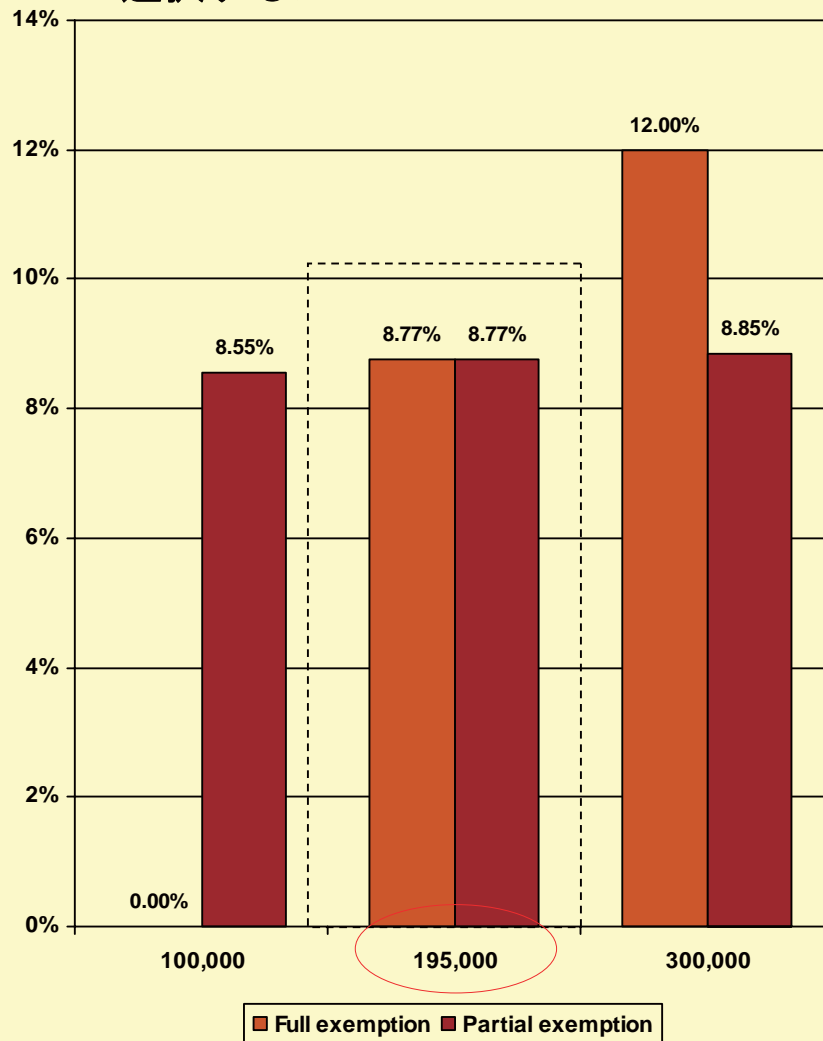
➤ 課税所得から\$100,000 (Max)を控除

選択の転換点は 課税所得\$195,000:

<i>Full exemption</i>	\$	\$
First \$100,000	0	
Next \$95,000	<u>95,000</u>	
Taxable income	<u>95,000</u>	
Tax @ 18%		<u>17,100</u>

<i>Partial exemption</i>	\$	\$
75% of first \$10,000	2,500	
50% of next \$185,000	<u>92,500</u>	
Taxable income	<u>95,000</u>	
Tax at 18%		<u>17,100</u>

-軽減税率と\$100,000控除のどちらを選択するか？-



個人所得稅



個人所得税

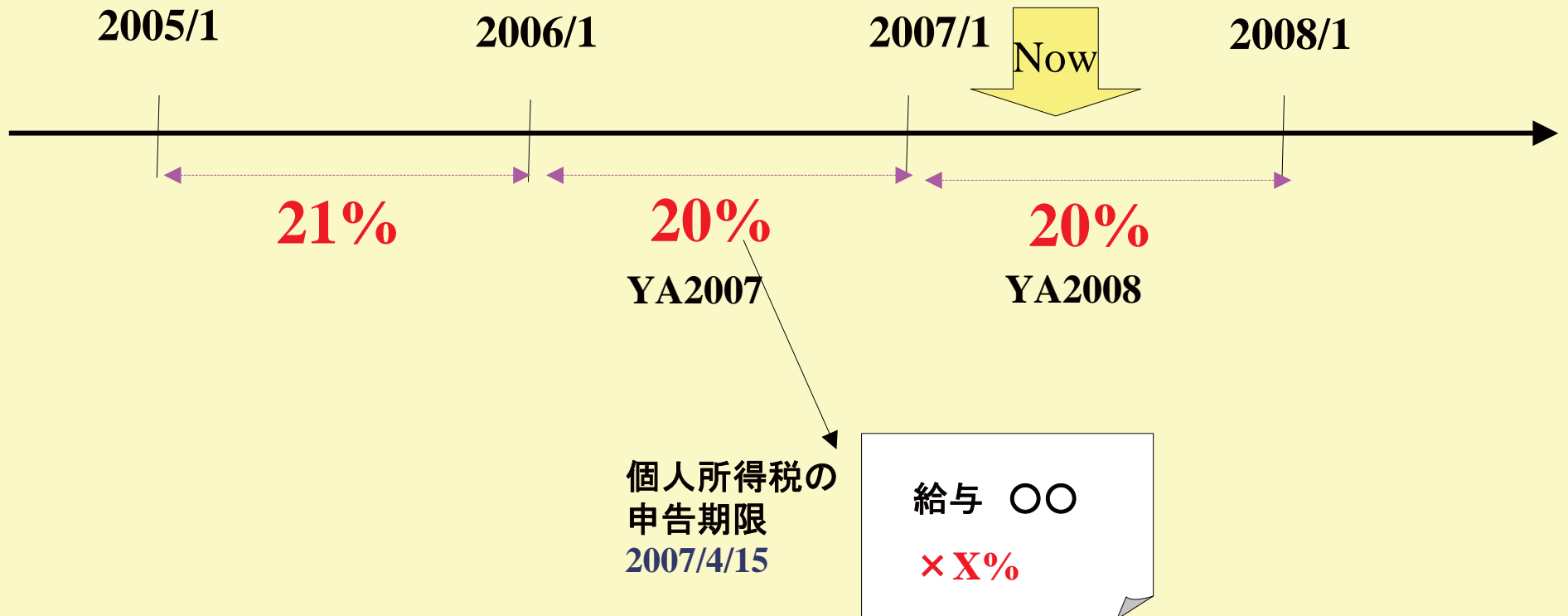
● 税率に変更なし

YA2006年(暦年2005年) 最高税率 **21%**

YA2007年(暦年2006年) 最高税率 **20%**

YA2008年(暦年2007年) 最高税率 **20%**

YA : Year of Assessment 賦課年度
課税の基準となる年度ですべての所得につき
前年の1/1~12/31の所得が課税対象所得



個人所得税

累進税率

0%~20%ま

で

計算例：課税所得10万ドルの場合

$$100,000 - 80,000 = 20,000$$

$$20,000 \times 14\% = 2,800$$

$$4,300 + 2,800 = 7,100$$

支払税額SGD7,100-

個人所得税率：

Resident individual tax rate

課税所得：

Chargeable Income

	Chargeable Income	Years of Assessment 2007 and 2008	
		Rate	Tax
	\$	%	\$
On the first	20,000	0.00	0.00
On the next	10,000	3.50	350.00
On the first	30,000		350.00
On the next	10,000	5.50	550.00
On the first	40,000		900.00
On the next	40,000	8.50	3,400.00
On the first	80,000		4,300.00
On the next	80,000	14.00	11,200.00
On the first	160,000		15,500.00
On the next	160,000	17.00	27,200.00
On the first	320,000		42,700.00
On income above	320,000	20.00	

実効税率各国比較

🌱Sporeがどの階層でも、最も課税負担が軽い

実効税率：

Effective Tax Rate

総収入：

Total Remuneration

	Total Remuneration US\$75,000		Total Remuneration US\$100,000		Total Remuneration US\$200,000	
	Tax Liability US\$	Effective Tax Rate %	Tax Liability US\$	Effective Tax Rate %	Tax Liability US\$	Effective Tax Rate %
Singapore	4,566	6	8,066	8	24,696	12
Australia ¹	21,979	29	32,354	32	78,209	39
China	15,252	20	22,876	23	63,606	32
Hong Kong	5,757	8	10,507	11	29,507	15
India	24,006	32	32,421	32	66,081	33
Indonesia	21,468	29	30,082	30	64,537	32
Japan	7,134	10	13,679	14	52,075	26
Malaysia	15,452	21	22,452	22	50,452	25
Philippines	22,762	30	30,762	31	62,762	31
South Korea	9,674	13	16,466	16	52,440	26
Taiwan	9,439	13	16,894	17	53,999	27
Thailand	16,990	23	24,490	24	60,804	30
Vietnam	18,464	25	28,464	28	68,464	34

前提：配偶者と2人の子供を持つ家庭

Source：PwC Budget commentary

GST



GSTの特徴

メリット

- 課税補足が容易
- 税収の安定性
- 収入を上げる努力、起業促進の効果
- 所得税に比べて、重税感がない

デメリット

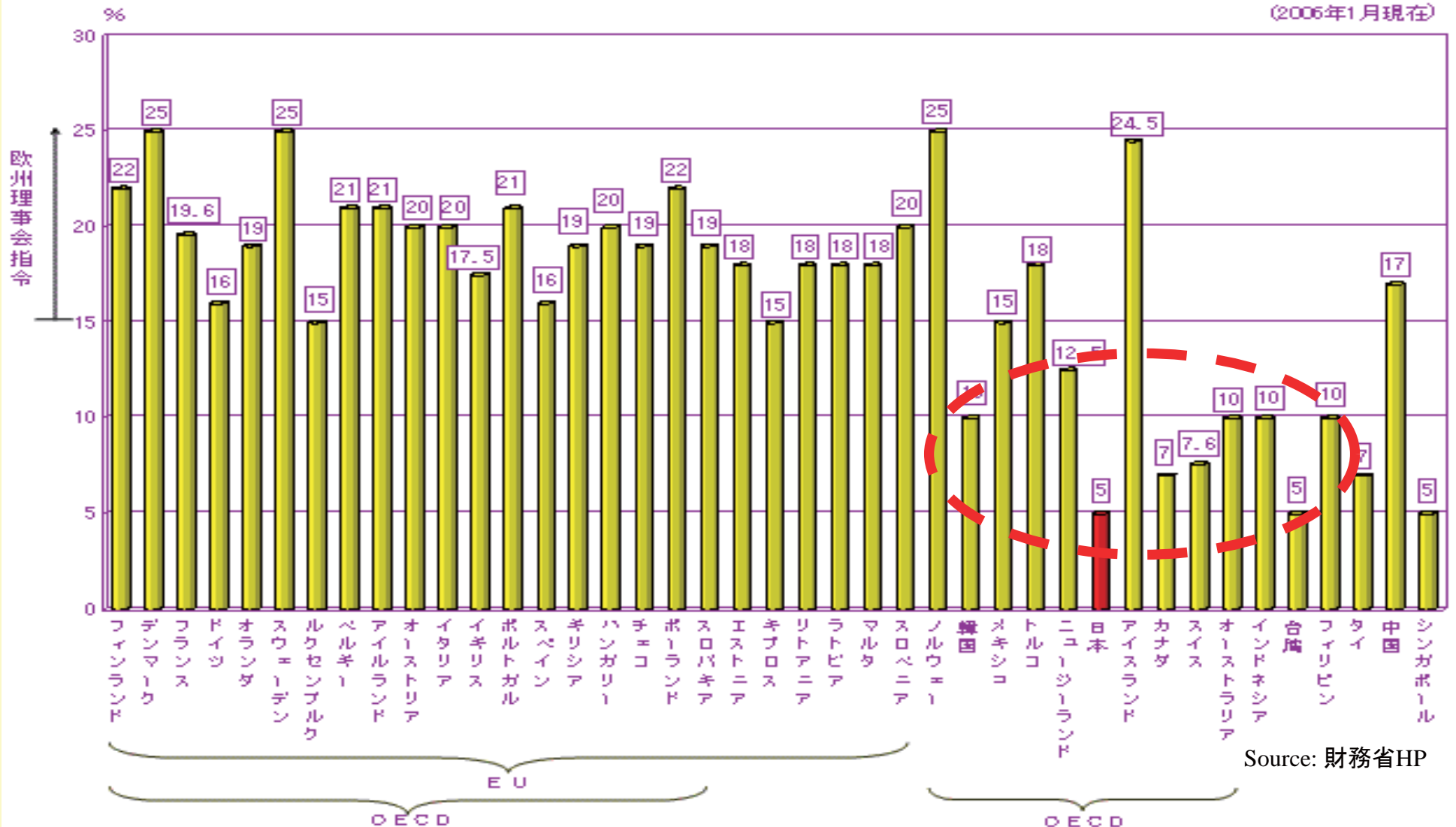
- 税の逆進性
- 自己申告に基づく納税・不正の誘惑



G S T

付加価値税(GST、消費税)の国際比較

欧州諸国に比べて、
日本・シンガポール等は
極めて低い税率を採用

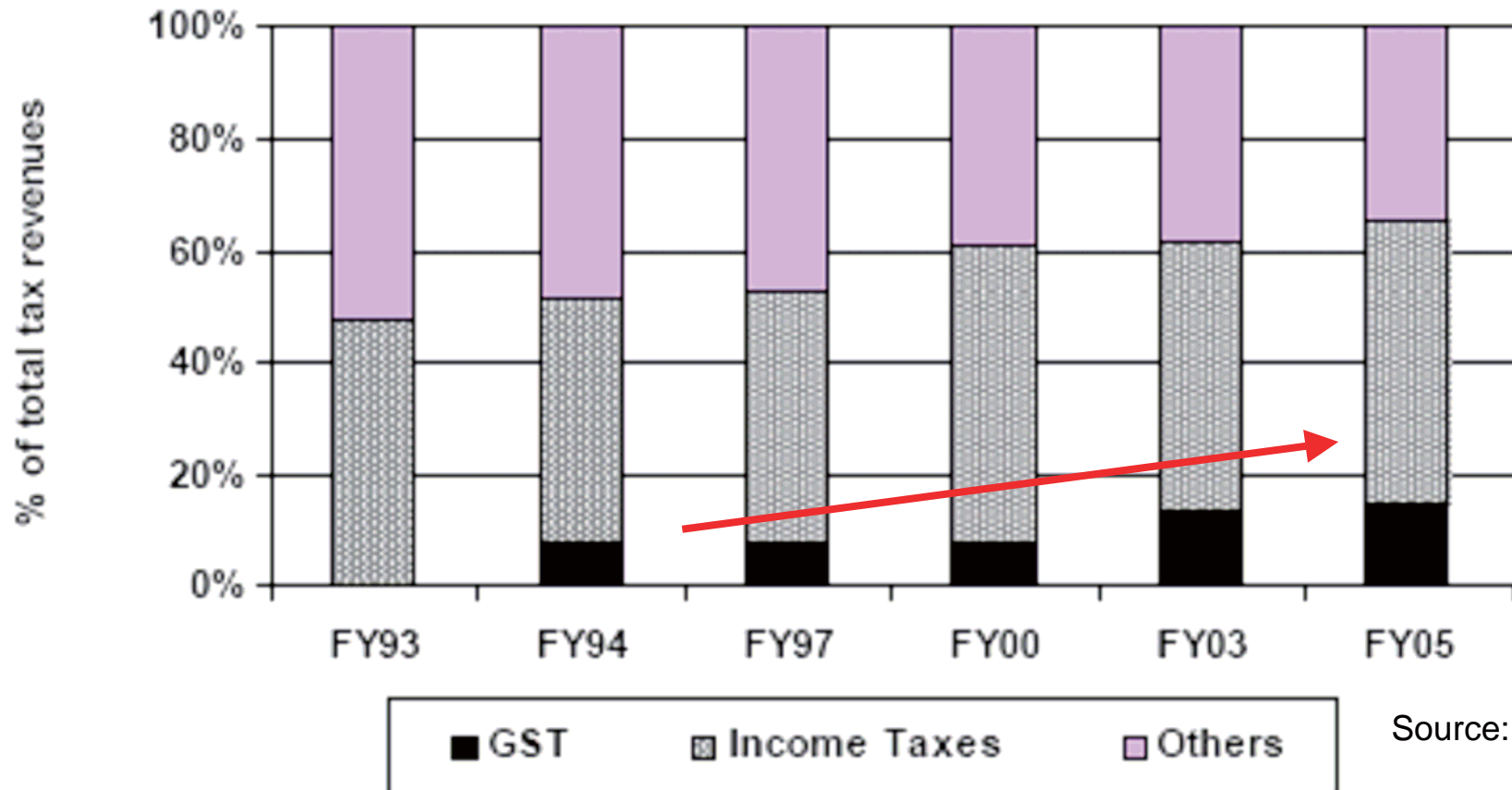


近隣各国のGST適用時期

Country	Standard rate	Date introduced
China	17%	1 Jan 1994
India	12.5%	1 Apr 2005
New Zealand	12.5%	1 Oct 1986
Philippines	12%	1 Jan 1988
Australia	10%	1 July 2000
Cambodia	10%	1 Jan 1999
Indonesia	10%	1 Apr 1985
S Korea	10%	22 Dec 1976
Vietnam	10%	1 Jan 1999
Thailand	7%	1 Jan 1992
Singapore	7%	1 Apr 1994
Japan	5%	1 Apr 1989
Taiwan	5%	15 Nov 1985
Hong Kong	?	?
Malaysia	?	?

税収に占めるGST 割合 — 上昇

- GSTが採用されてから一貫して、比率上昇
- 税収のひとつの柱へ



GST増税の効果

●経済

- 短期的には、消費行動パターンの変化
- 法人の活動や政府の支出に大きな変化はなし

●多国籍企業

- 納税コストの増大
- GST計算・納付ミス防止のための工数増大

●小規模企業

- GST申告の手続・順守工数の増大

●不動産開発業・金融業

- 結果的にGSTの負担額が多くなる可能性あり

●小売・観光業

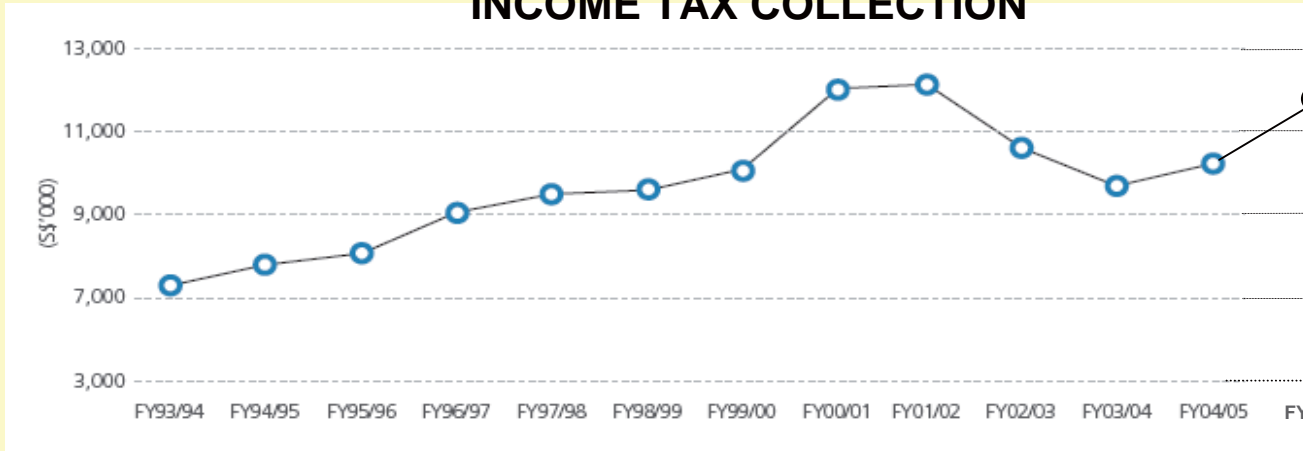
- 引き上げ当初は、支出に消極的
- 旅行者は、GSTの還付請求可能

●中・低額所得者層

- オフセットパッケージ(現金支給)等で相殺してもなお、増税感

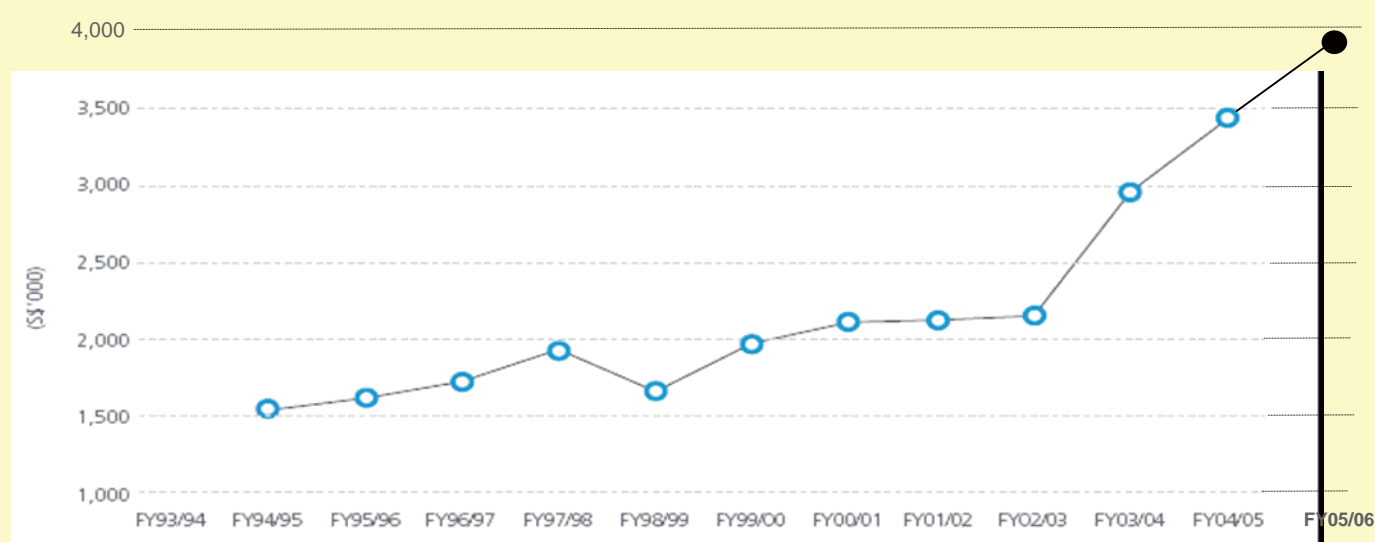
税収の増加率

INCOME TAX COLLECTION



法人税等の税収が伸び悩む中、GST税収は拡大

GOODS & SERVICES TAX COLLECTION



GST税務調査

- 税務調査での修正額は、法人税等よりも大きい
- 計算ミス・ミスの金額が、法人税等よりも大きい

	1995	2006	2006 Penalty/税込 ②÷①
GST登録業者数	40,367	65,946	
① Income Tax申告時税込額	\$7.7 bil	\$11.7 bil	
GST申告時税込額	\$1.5 bil	\$3.8 bil	
② Income Tax税務調査でPenalty等	NA	\$61.3 mil	0.5%
GST税務調査でのPenalty等	\$3.3 mil	\$76.2 mil	2.0%

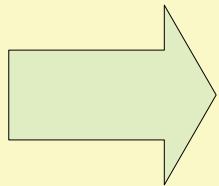
ミス発生の可能性が潜む場所

ミスの可能性が高い原因

- 膨大な伝票・取引量
- スキルが低い人間による入力ミス
- 処理に慣れたところで、担当者の退職
- 各拠点での会計・伝票処理
- 3ヶ月に一度の申告失念
- 等

ミスの起こりやすい取引

- 再請求/再計上時の処理
- 有効のタックスインボイスによらないinput taxの還付請求
- 輸出の場合の処理
- 海外で発生した費用に関する処理
- 免税商品の処理
- 等



処理が自動システム化されている場合、ミスに気づいたときの金額が莫大

要チェック！

注意事項

- 7/1前に、GSTを7%として処理してはならない
- 7/1後に、顧客が追加の2%のGSTの支払を拒否しても、会計・税務処理としては適切に7%を請求したものとしなければならない
 - 結果的に2%値引き・自己負担となる—
- 契約期間が、7/1をまたぐ場合の処理（ex.リース）
- 将来のGST税率上昇に向けた契約書ワーディング

<GST原則課税業者へ任意登録した会社への現金支給>

- GST登録関連費用（訓練、機器購入、ネット接続費用等）の50%
- 上限\$5,000まで

注意事項2

● 高額資産の購入時の再検討

- GSTの支払時と還付時にタイムラグ→手元資金の悪化

● 会計・請求システム/手続の見直し

- 7/1を基準として、それ以前は5%、以後は7%GSTを付加して請求するシステムの設定
- 同様に、入金やについても5%、7%の設定変更用
- 運用当初は、注意深くミスをチェックする必要

● 値札、タグ、広告(印刷物・HP等)の変更

- 二重価格の表示の検討(小売、7/1は日曜日)
- 顧客の質問に対応するためのスタッフの教育

CPF



CPF雇用者負担の増加

- CPF雇用者負担比率を13%から14.5%へ引き上げ
- 実施時期 2007年7月1日から
- 対象外: Older low-wage workers (WSI項目参照)
- 現在: 労働者20%、雇用者13% 合計33%

CPF : Central Provident Fund

中央準備基金

Employer component of CPF

Contribution rates : CPF雇用者負担率

Older low-wage workers:

SGD1,500/月未満で35歳以上の労働者

○今まで

Salary (額面) 100

手取り給与 80	CPF 労働者負担分 20	CPF 雇用者負担分 13
-------------	---------------------	---------------------

○2007/7/1から

手取り給与 80	CPF 労働者負担分 20	CPF 雇用者負担分 14.5
-------------	---------------------	-----------------------

実質的な給与
が1.5%増加

Source: Central Provident Fund

Board HPから作成

CPF Allocation

(例示：35歳以下)

Ordinary Account (OA口座)：通常のCPF積立口座。自宅購入・CPF保険の加入・投資や教育費等のために積み立てるもの。

Medisave Account (MA口座)：医療費の支払や一定の医療保険の加入等のために積み立てるもの。

Special Account：老後のために不意の支出や年金の資産運用投資のために積み立てるもの。

Employee Age (years)	Contribution By Employer (% of wage)	Contribution By Employee (% of wage)	Total Contribution (% of wage)	Credited Into		
				Ordinary Account %	Special Account %	Medisave Account %
35 & below	14.5	20	34.5	23	5	6.5

<p style="text-align: center;">CPF 労働者負担分</p> <p style="text-align: center;">20</p>	<p style="text-align: center;">CPF 雇用者負担分</p> <p style="text-align: center;">14.5</p>
---	---

<p style="text-align: center;">Ordinary Account</p> <p style="text-align: center;">23 %</p>	<p style="text-align: center;">Special Account</p> <p style="text-align: center;">5 %</p>	<p style="text-align: center;">Medisave Account</p> <p style="text-align: center;">6.5 %</p>
---	---	--

その他（法人）

その他（法人）

法律サービスの誘致

international arbitration activities :
国際紛争仲裁活動

🌐 一定の収入に対して50% 免税

➤ 対象：法律事務所

➤ 内容：国際的紛争の仲裁に関する収入

➤ 適用時期：2007年6月30日から2012年6月30日の5年間



その他（法人）

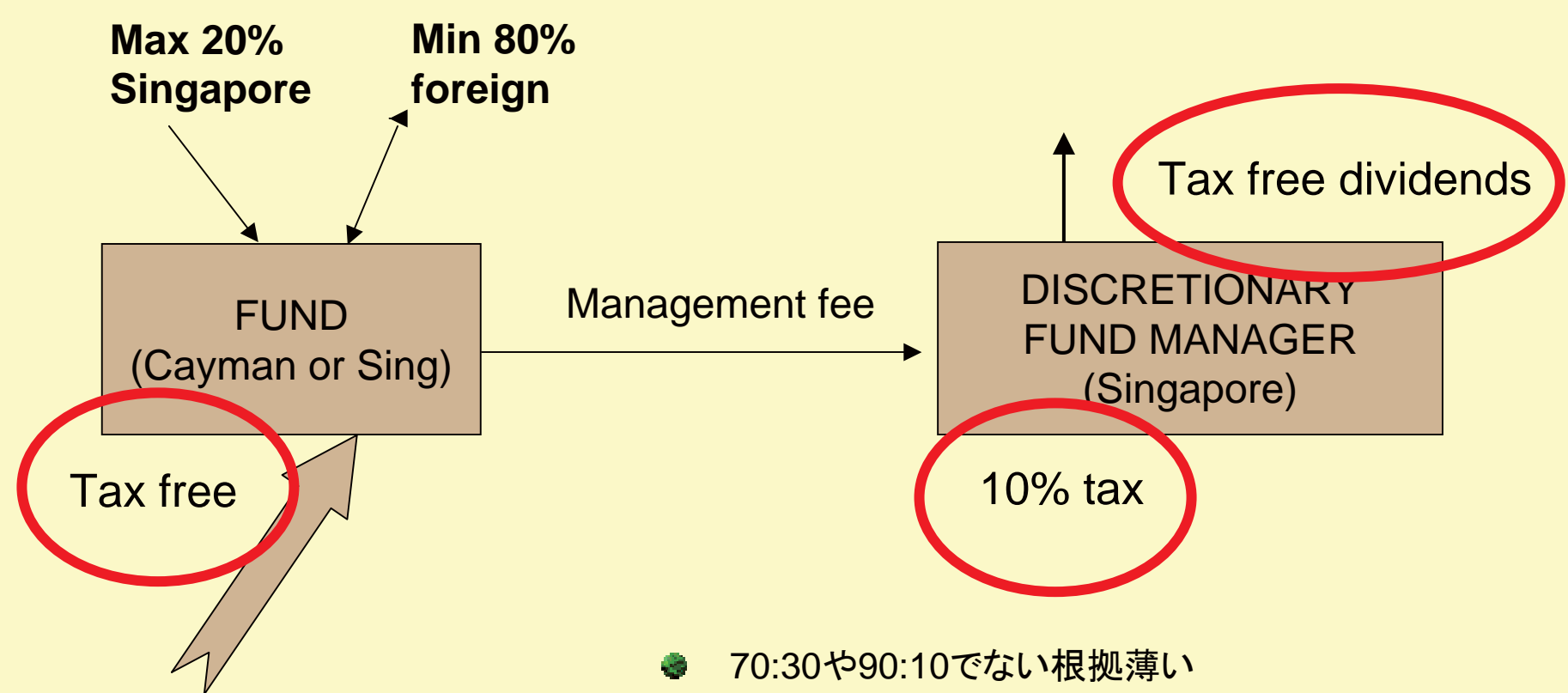
金融サービスの誘致

- 80:20ルールの撤廃
 - ファンドマネージャー会社への10%軽減税率の拡大
 - FSIスキーム
 - FTCスキーム
 - OTCスキーム
 - QDSスキーム
- 適用時期: 2007年2月15日から

Financial Sector Incentive (FSI) :
Finance and Treasury Centre (FTC) :
over-the-counter (OTC) :
Qualifying Debt Securities (QDS)

80:20ルールとは

Discretionary Fund Manager :
資産運用を一任された運用会社



Dividends, interest, gains

- 70:30や90:10でない根拠薄い
- 80:20の境目にいるとき、ほんの1%の違いで結果が相違
- 継続的に用件充足をチェックするのが困難

その他（法人）

慈善団体・NPOの誘致

● 登録慈善団体への免税措置の緩和

➤ 適用時期：2007年2月15日から

● 地域・国際的NPOの免税

➤ 対象：シンガポールへ経済的な効果をもたらすNPOに対して免税

➤ 適用時期：2007年2月15日から10年間

Philanthropy : 慈善団体

not-for-profit organisations (NPOs)

: 非営利組織

Institution of a Public Character (IPC)

: 公的組織。現在128社が登録されている。

その他（法人）

物流, 海運, 航空サービス

ASLスキームの期間延長

- 5年から10年に延長
- 適用時期: 2007年2月15日から

ALSスキームの対象拡大

- 一定のリース料収入に対して更に税率5%を軽減
- 対象拡大: 航空機ファイナンスやエンジンのリースも対象
- 適用時期: 2007年3月1日から2012年2月29日まで

0% GST対象業者

- 国際物流に使うコンテナを購入もしくはリースする場合に、GSTを免除
- 適用時期: 2007年4月1日から

ASLスキーム:

Approved Shipping Logistics Enterprise

ALSスキーム:

Aircraft Leasing Scheme

Zero-rate GST: GST免除スキーム

印紙稅



印紙税



Purchase Price : 購入価格
Market Value : 市場価格

●印紙税

- 事業再編に関する企業グループ内の資産移転に関する印紙税の免除対象の拡大
- 適用時期: 2007年2月15日から

不動産のケース	適用税率
購入価格と市場価格のいずれか高いほう	
最初の \$180,000	\$100 当たり \$1.00*
次の \$180,000	\$100 当たり \$2.00*
それ以上	\$100 当たり \$3.00*

道路稅



乗用車とオートバイの道路税率の引き下げ

●乗用車とオートバイの道路税率の8%引き下げ

●詳細は、後日Ministry of Transportから発表

種類	計算体系
輸入税	車両価格の31%
車両登録料	S\$140
追加登録料	車両価格の110%
道路税	排気量による(右参照)
COE	市場価格による

Road tax : 道路税
 Open Market Value (OMV) : 車両価格
 Additional Registration Fee : 追加登録料
 Certificate of Entitlement (COE):
 10年間の車両保有の権利

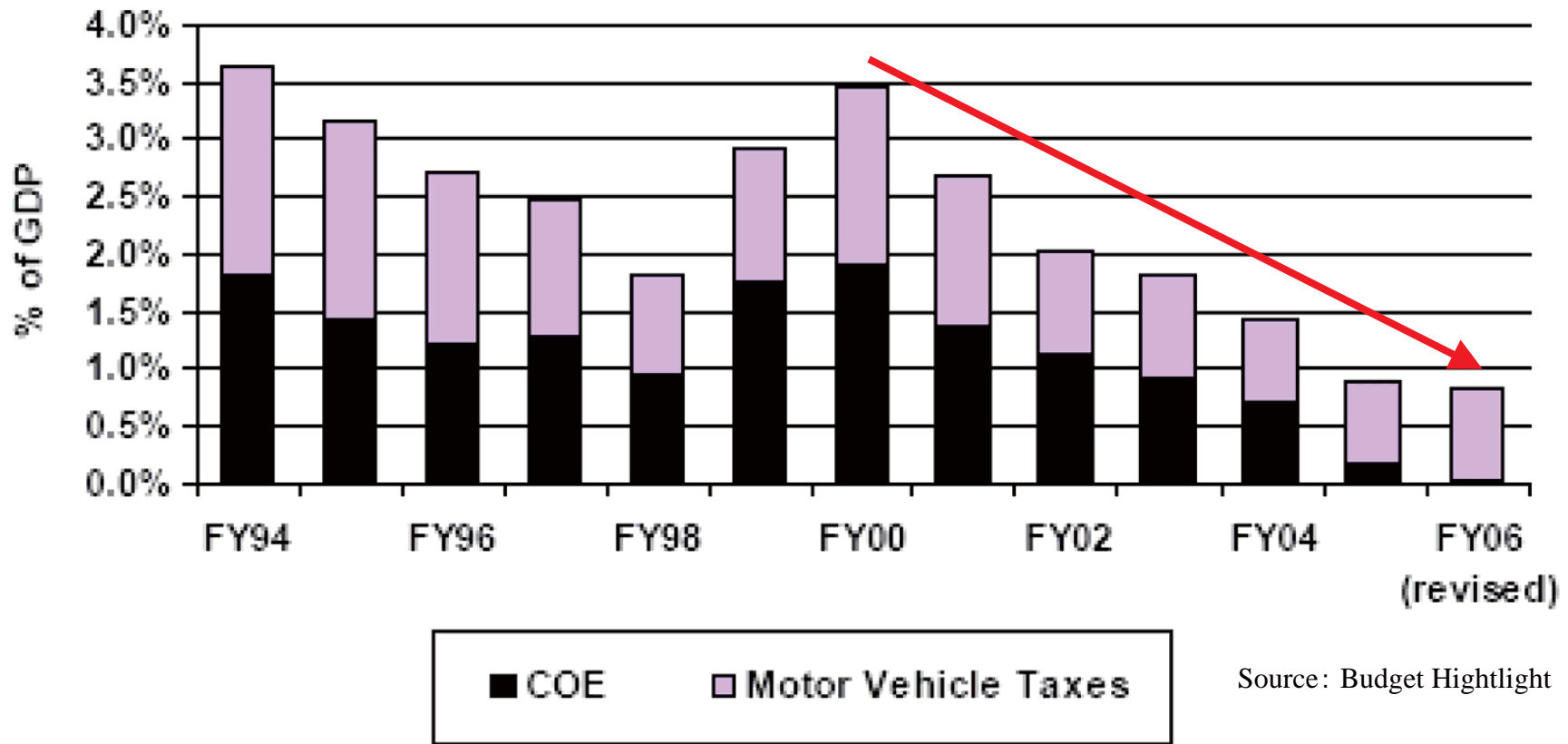
排気量	計算体系
600 cc	S\$400 (flat rate)
601 cc - 1,000 cc	S\$400 + 0.25 x (EC - 600)
1,001 cc - 1,600 cc	S\$500 + 0.75 x (EC - 1,000)
1,601 cc - 3,000 cc	S\$950 + 1.5 x (EC - 1,600)
more than 3,000 cc	S\$3,050 + 2.0 x (EC - 3,000)

乗用車とオートバイの道路税率の引き下げ

2000年をピークに自動車関連税の引き下げ

Road tax : 道路税

Chart 1.1: Motor Vehicle Related Revenues (FY1994 to FY2006)*

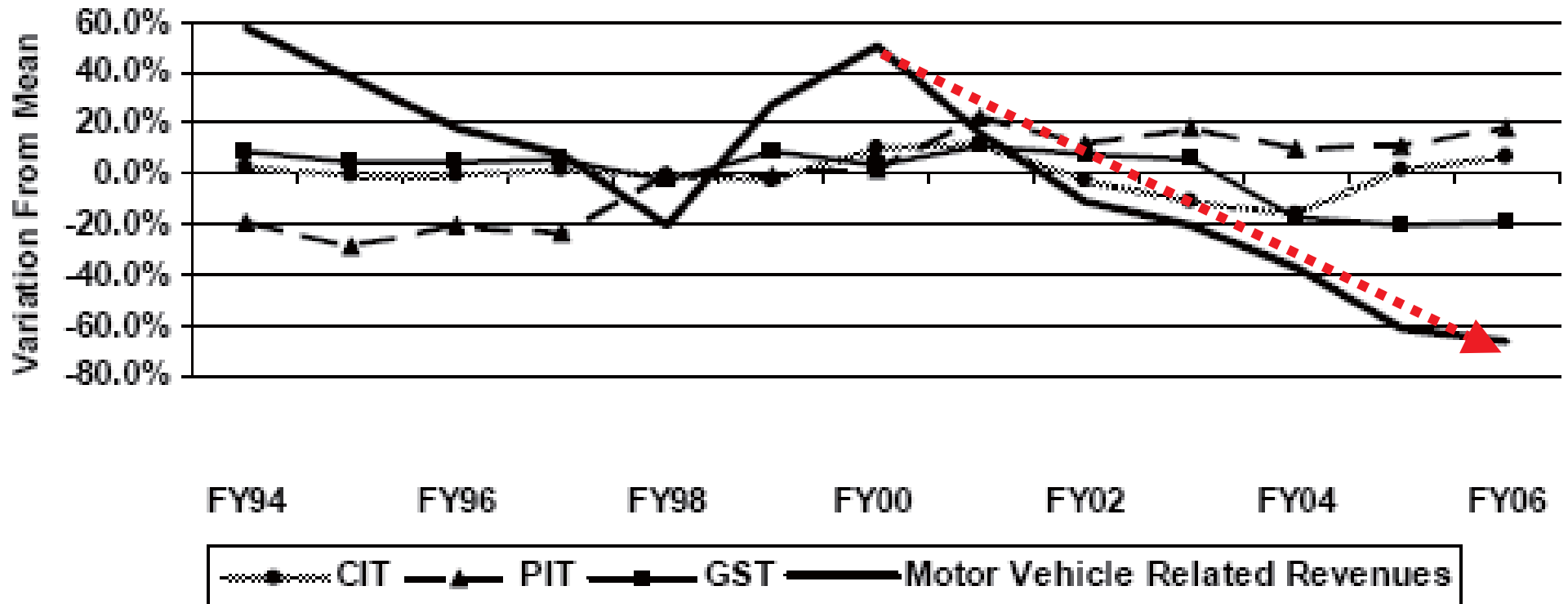


道路関係税の比率(重要性)低下

CIT : Corporate Income Tax
PIT : Personal Income Tax
GST : Goods & Service Tax

● 税収に占める道路関連税収の地位が低下

Chart 1.2: Sources of Government Revenue (FY1994 to FY2006)*



その他（個人）

その他（個人）

ワークフェアスキーム

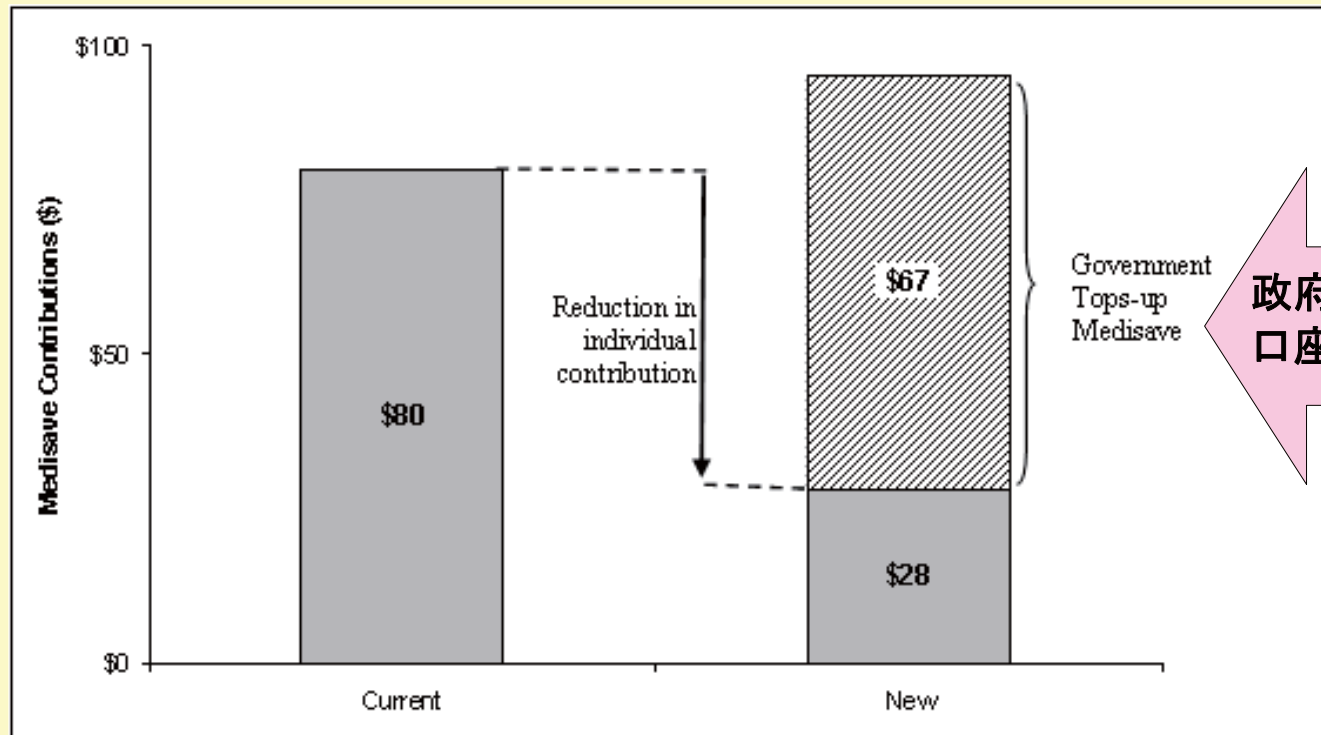
Workfare Income Supplement (WIS)

Scheme: ワークフェアスキーム。

勤労福祉制度

● CPFの雇用者負担率増の対象外者を手厚く保護

- 対象①: 月収\$1,000以下の45歳以上フルタイム労働者
- 対象②: 月収\$1,500以下の35歳以上フルタイム労働者



例: 45歳自営業者で
月収\$1,000のケース

政府が個人のMA
口座へ給付

Source:: Budget 2007

その他（個人）

外国人労働者税FDWLの減額

Foreign Domestic Worker Levy :
外国人労働者税。FDWL。
別名メイド税

- 外国人労働者税が\$295から\$265に減額
- 障害者を持つ家庭は、\$200 から\$170 に減額
- 時期：2007年7月1日より



遺產稅



遺産税

Estate Duty : 遺産税

- 現在もかなり低い水準
- シンプルな税体系
- 課税対象資産SGD12M以上の富裕層以外、無関心
- 来年から撤廃の方向性(先送り)？



	Tax Rates
最初の \$12 million	5%
\$12 million を超える部分	10%

遺産税

—Budget Speech 2006の原稿より

verdict : 決定

....One recent letter to the Straits Times Forum set out cogently the rationale for the estate duty.

“Many feel that estate duty is, in fact, the most Moral of taxes. The individual himself is not affected by the tax, by definition he is dead when it is levied.”

....The Ministry of Finance is studying the matter carefully, in the context of our overall regime of assets taxes. **We should reach a conclusion by the next Budget.**

“We mentioned in 2006 that we will review our asset taxes including estate duty. **I have decided to postpone a verdict on this.**

There have been many calls to rationalise the structure of estate duty on residential properties and other assets respectively. I prefer to take this together with the decision on whether we will retain estate duty.”

Cess



Cessの廃止

Singapore Tourism Board (STB) :
政府観光局

●Cessとは:

ホテル・飲食その他(観光用)で消費される課税対象の1%

STBの代理として、IRASが徴収

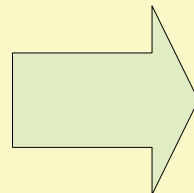
●時期:2007年7月1日より**廃止**(GST2%upとあわせて実施)

<課税対象>

- 宿泊料金 (最低\$1/day)
- 飲食代金
- タバコの販売
- タオル・リネンチャージ
- 入場料
- 席料
- KTV room 使用料 等

<対象外>

- サービスチャージ
- チップ
- 電話代
- ランドリーサービス



“+++”から“++”へ
(GST、サービス料、CESS)

酒稅



酒税

酒税の増税・たばこ税の据え置き

● 時期: 2008年1月1日より

● アルコール度5.5%以上の税額UP

Customs and Excise Duties for Beer and Stout:

酒税

Custom Duty: 関税

Excise Duty: (国内)物品税

Stout: 黒ビール

Porter: 軽めの黒ビール

Ale: エールビール。薄色のビール

Product Description	Currnt Duty Rates		New Duty Rates	
	Customs Duty	Excise Duty	Customs Duty	Excise Duty
Stout & Porter	\$1.70 per little	\$3.70 per little	\$16 per little of alcohol	\$48 per little of alcohol
Beer & ale	\$0.80 per little	\$2.70 per per little	\$16 per little of alcohol	\$48 per little of alcohol



例: もしアルコール度数6.0%のスタウトビール

500ml缶を2本(1L)飲んだら...

(従前) $500\text{ml} * \frac{1}{2} * \$3.7 = \$3.70$

(今後) $500\text{ml} * 2 * 6\% * (16 + 48) = \3.84

3.7%の増税

まとめ



予算の概要とインパクト

<u>項目</u>	<u>施策のキーポイント</u>	<u>企業に与えるインパクト</u>
●法人税	引き下げ20 %→18%	◎
●同 軽減枠	軽減枠の拡大	○
●所得税	変更なし	○
●GST	引き上げ5 %→7%	◎
●業界インセンティブ	各種見直し	△
●起業家や小規模企業	免税や軽減税率適用	△
●CPF	企業負担率13%→14.5%	◎
●ワークフェア	国民へ現金支給	—

◎: 影響大

○: 影響あり

△: 業界関係者に
影響あり

予算案の情報入手先

MOF : Ministry Of Finance

シンガポール財務省

IRA : Inland Revenue Authority

シンガポール税務当局



予算案 : http://www.singaporebudget.gov.sg/budget_2007/index.html



あて先	アドレス
MOF	http://app.mof.gov.sg
IRAS	http://www.iras.gov.sg
EDB	http://www.sedb.com
IE Singapore	http://www.iesingapore.gov.sg
MAS	http://www.mas.gov.sg
MPA	http://www.mpa.gov.sg
MOM	http://www.mom.gov.sg/
STB	http://app.stb.com.sg

PricewaterhouseCoopers シンガポール事務所



1800人を超える職員を擁するPwCシンガポール事務所は、シンガポールにおいてトップクラスのプロフェッショナルサービスを提供しております。幅広いサービス提供により、クライアントがビジネスに関わる問題を解決し、さらにはチャンスを最大限に生かすお手伝いをしております。また、それぞれの業界に精通したプロフェッショナルが、業界における潮流をつかみ、クライアントに応じた解決方法を提案します。監査・税務・アドバイザーなど各サービス部門には高い専門性を有した経験豊富なプロフェッショナルそしてリーダーたちがおり、PwCグローバルネットワークと相乗しながら、クライアントの必要に応じたサポートを世界のどこにでもアドバイスできる体制を整えております。

まとめ

日系企業アドバイザーグループご案内



野村 利宏

Toshihiro Nomura

日系企業担当アソシエイトディレクター

toshihiro.nomura@sg.pwc.com

Tel (65) 6236 4077



吉田実貴人

Mikito Yoshida

日系企業担当マネージャー

mikito.m.yoshida@sg.pwc.com

Tel (65) 6236 3169



斯波 澄子

Sumiko Shiba

日系企業担当マネージャー

sumiko.shiba@sg.pwc.com

Tel (65) 6236 4076



池田 佳代

Kayo Ikeda

日系企業担当アシスタントマネージャー

kayo.ikeda@sg.pwc.com

Tel (65) 6236 4071

